



# 資料編

# 1. 統計資料による海津市の現状

## (1) 海津市の人口

平成 17 年の国勢調査によると、本市の総人口は 39,453 人となっています。昭和 60 年からの推移をみると、昭和 60 年から平 7 年までは増加傾向にありましたが、平成 12 年には減少に転じています。

年齢 3 区分別人口の推移についてみると、少子高齢化の進行が顕著に現れています。65 歳以上の高齢者人口は増加傾向が続いており、平成 12 年には初めて 0～14 歳の年少人口を上回り、その後もその差は拡大しています。

高齢者人口の総人口に占める割合(高齢化率)は平成 17 年には 20.3%となっており、これは全国平均 20.1%より 0.2 ポイント高く、岐阜県平均 21.0%より 0.7 ポイント低い割合となっています。

一方、年少人口が総人口に占める割合(年少人口比率)は、平成 17 年には 14.0%となっており、これは全国平均 13.7%より 0.3 ポイント高く、岐阜県平均 14.5%より 0.5 ポイント低い割合となっています。

生産年齢である 15～64 歳の人口は、この 20 年間 65%前後で、ほぼ横ばいとなっています。

### ■人口の推移

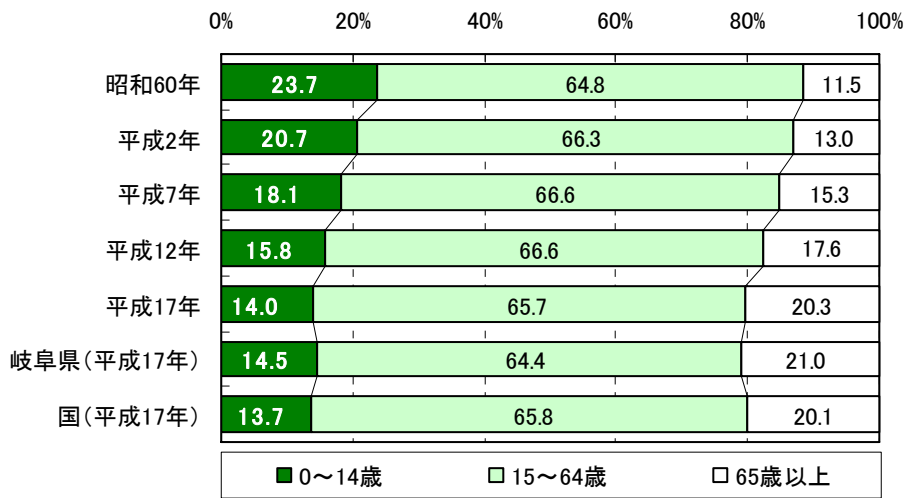
(単位:人)

	総人口	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
昭和 60 年	39,538	9,357	23.7%	25,624	64.8%	4,557	11.5%
平成 2 年	40,811	8,454	20.7%	27,042	66.3%	5,315	13.0%
平成 7 年	41,694	7,552	18.1%	27,759	66.6%	6,383	15.3%
平成 12 年	41,204	6,512	15.8%	27,423	66.6%	7,269	17.6%
平成 17 年	39,453	5,505	14.0%	25,919	65.7%	8,027	20.3%

平成17年総人口39,453人には年齢不詳2人を含む。

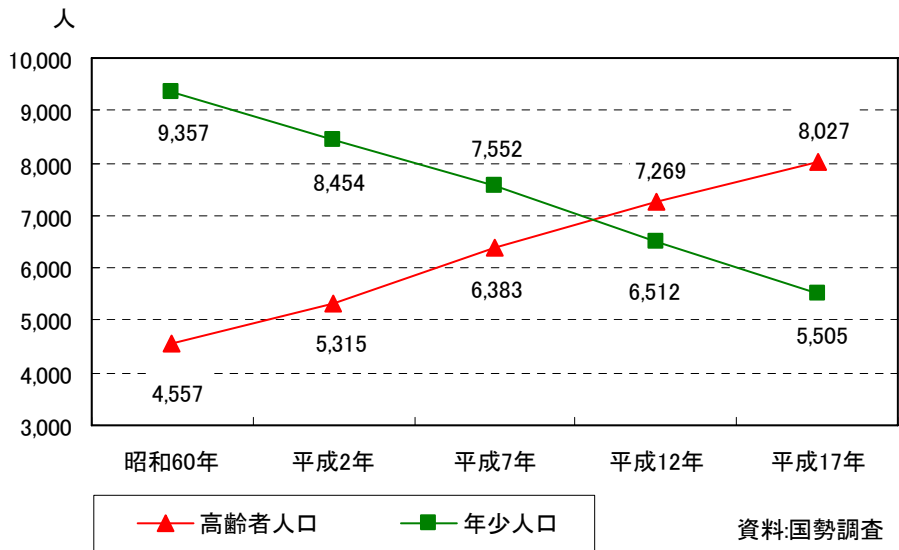
資料:国勢調査(平成12年までは海津町・平田町・南濃町の合計値)

■年齢3区分別人口割合の推移



資料:国勢調査

■高齢者人口と年少人口の推移



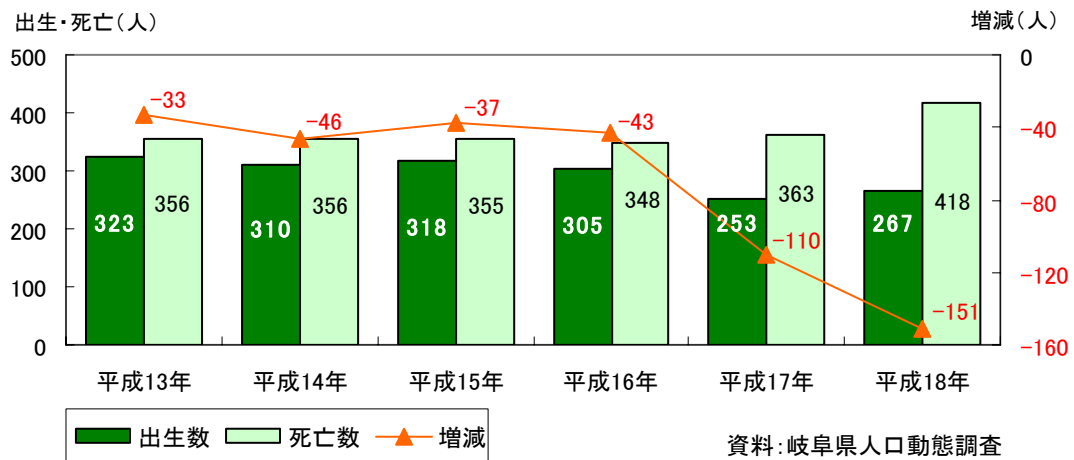
資料:国勢調査

## (2) 人口動態の推移

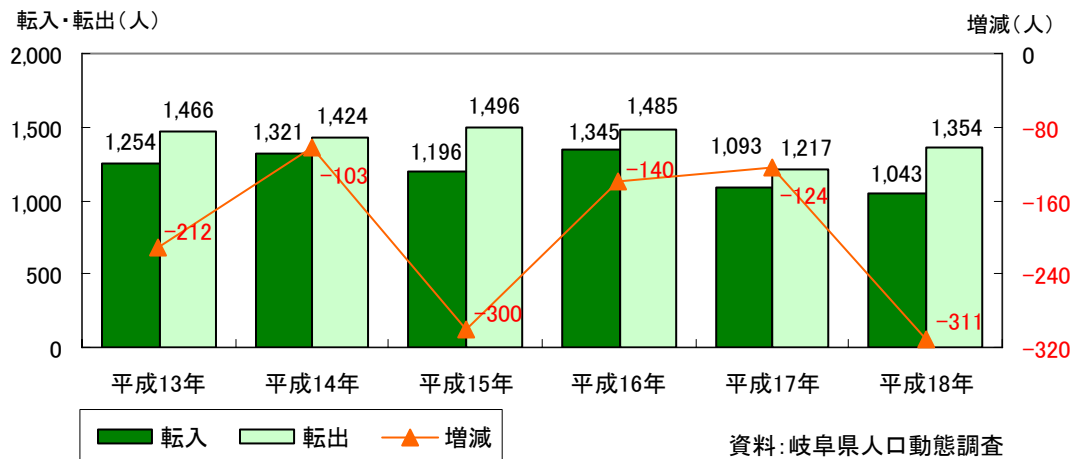
出生数と死亡数による自然動態の増減を平成13年以降で見ると、死亡数が出生数を上回る自然減が続いており、平成16年以降はその差が拡大してきています。

また、転入と転出による社会動態の増減を同様に平成13年以降で見ると、転出が転入を上回る社会減が続いています。

### ■自然動態の推移



### ■社会動態の推移

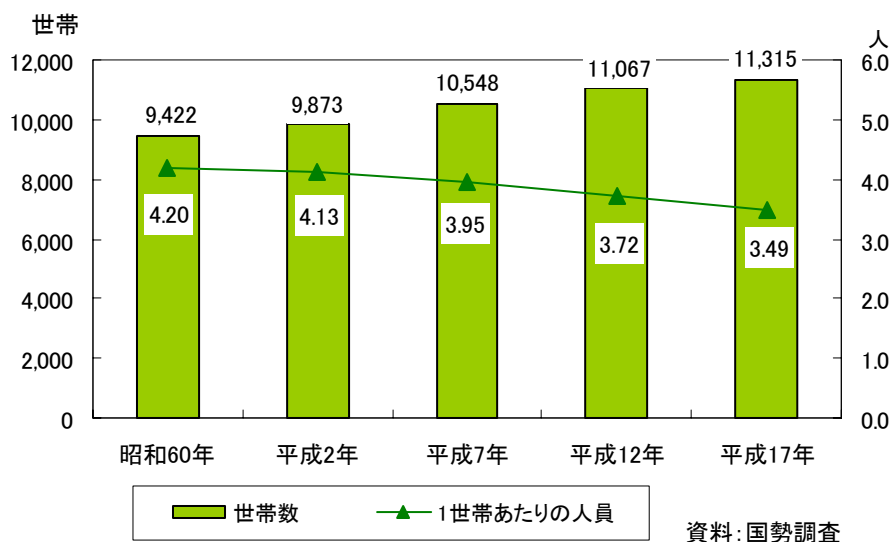


### (3) 世帯の状況

総世帯数の推移を国勢調査の結果で見ると、昭和60年から平成17年までの20年間、増加を続けており、平成17年には11,315世帯となっています。したがって、1世帯当たりの人員は減少傾向にあり、平成17年は3.49人となり、核家族化が進んでいることがうかがえます。

高齢者世帯についてみると、一般世帯数に占める割合は増加し続けており、平成17年では47.2%となっています。また、高齢者世帯に占める高齢単身者(ひとり暮らし高齢者)の増加も目立っており、平成17年では8.7%となっています。

#### ■総世帯数と1世帯あたりの人員数の推移



#### ■高齢者世帯の推移

	一般世帯数 合計	高齢者のいる世帯			
		世帯数		高年齢単身者世帯	
		世帯数	構成比	世帯数	構成比
昭和60年	9,422	3,392	36.0%	170	5.0%
平成2年	9,873	3,860	39.1%	190	4.9%
平成7年	10,548	4,475	42.4%	250	5.6%
平成12年	11,067	4,951	44.7%	331	6.7%
平成17年	11,303	5,332	47.2%	466	8.7%

資料: 国勢調査(平成12年までは南濃町・平田町・海津町の合計値)

ひとり親世帯は、平成 17 年国勢調査によると、母子世帯が 108 世帯(一般世帯数の 1.0%)、父子世帯が 25 世帯(同 0.2%)となっています。

生活保護世帯について平成 13 年以降の動向をみると、国、県ともに増加傾向にありますが、海津市は国、県に比べて保護率は低く、この 2～3 年は 1.5%前後となっています。

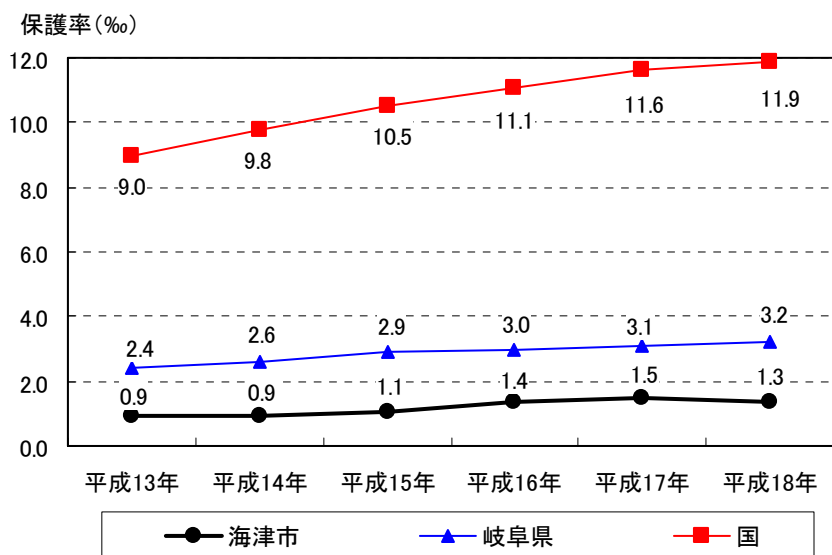
### ■ひとり親世帯

(単位:世帯)

平成12年		平成17年	
母子	父子	母子	父子
96	38	108	25
0.9%	0.3%	1.0%	0.2%

資料:国勢調査

### ■生活保護世帯

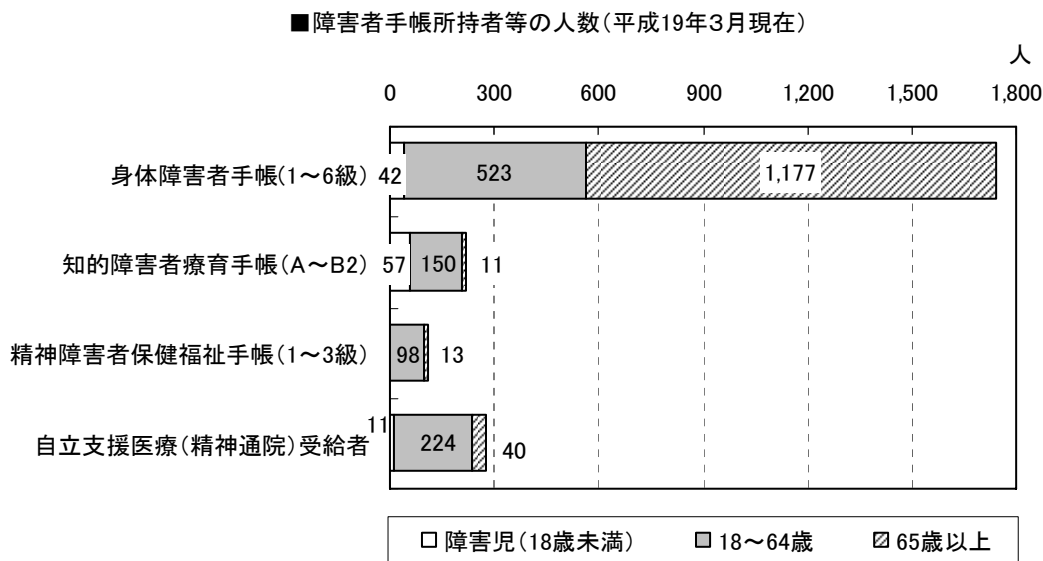


資料:福祉総務課

## (4) 障害のある人の状況

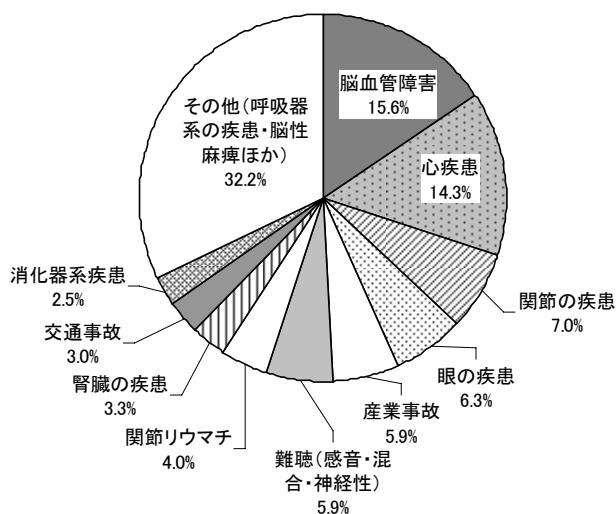
### ①障害者手帳所持者等の人数

障害者手帳を持っている人は、身体に障害のある人が最も多く、中でも高齢者の占める割合が高くなっています。



身体障害者手帳所持者の障害原因をみると、「脳血管障害」が15.6%で最も多く、次いで「心疾患」の14.3%、「関節の疾患」の7.0%となっています。

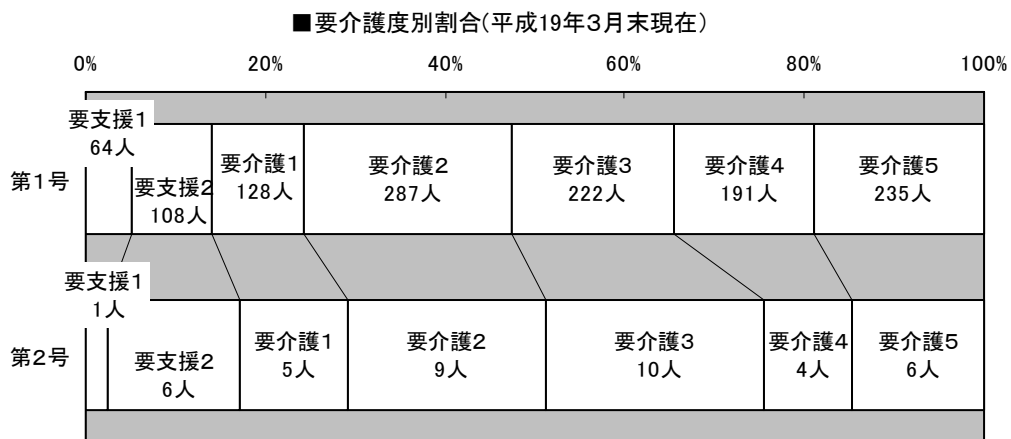
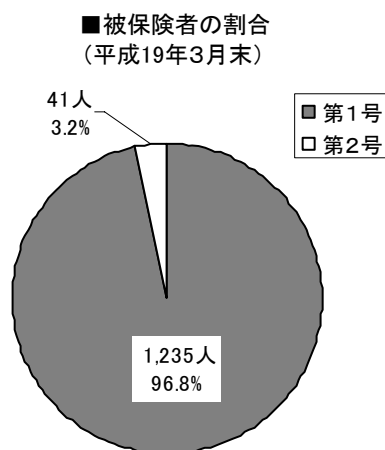
■身体障害者手帳所持者の障害原因(平成19年3月末現在)



## ②介護保険要支援・要介護認定者数

平成19年3月末現在、要介護認定者のうち第1号被保険者(65歳以上)は1,235人、第2号被保険者(40～64歳)は41人となっています。

それぞれの要介護度別認定者の割合は、第1号被保険者では、要介護2が287人(23.2%)で最も多く、第2号被保険者では、要介護3の10人(24.4%)となっています。

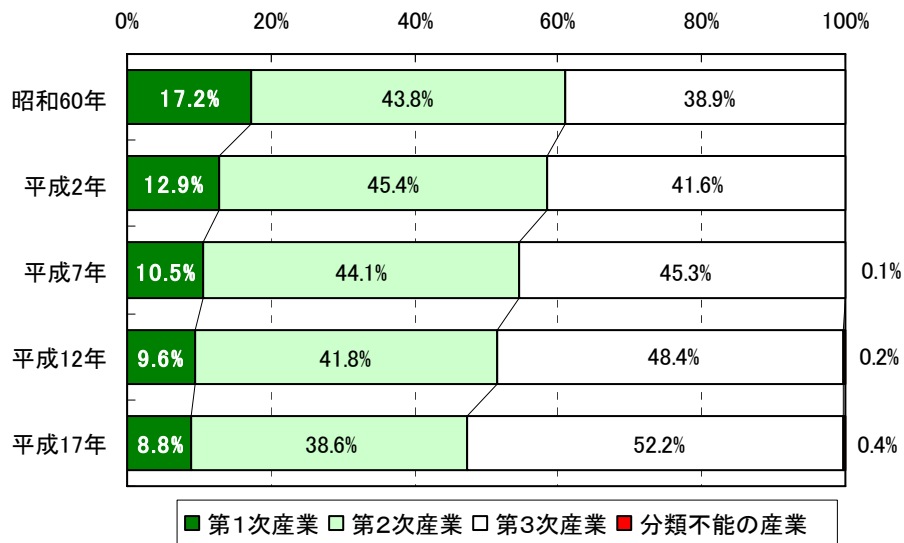




## (5) 産業構造の状況

国勢調査による海津市の産業構造の推移を見ると、第1次産業と第2次産業は減少傾向にあり、第3次産業は増加傾向にあります。

### ■産業別就業者数の推移



資料:国勢調査

## (6) 地域福祉を支える人・団体等の状況

### ■海津市の地域福祉を支える人・団体等（平成19年4月現在）

人・団体等	総数	地域別		
		海津地区	平田地区	南濃地区
民生委員・児童委員	76人	27	18	31
福祉推進委員	224人	89	32	103
ボランティア(団体)	58団体	18	14	26
ボランティア(個人)	31人	15	5	11
NPO等市民活動団体	5団体	1	2	2
自治会・区会(南濃)	150カ所(10,874世帯)	91	32	27
地区老人クラブ	88団体(7,851人)	40	20	28
社会福祉協議会	1カ所	海津支所	平田支所	本所
地区福祉活動協議会	4団体	4	—	—

### ■上記の人・団体等の主な活動内容

人・団体等	主な活動内容
民生委員・児童委員	相談・見守り・支援活動
福祉推進委員	見守り・支援活動
ボランティア(団体)	情報提供・福祉サービスの提供
ボランティア(個人)	情報提供・福祉サービスの提供
NPO等市民活動団体	生活支援・地域活動支援・福祉サービスの提供
自治会・区会(南濃)	自治組織相互の連絡調整・福祉の向上・市政への協力
老人クラブ	社会奉仕・健康増進活動
社会福祉協議会	地域福祉事業・相談事業・小地域福祉活動
地区福祉活動協議会	地域福祉活動

### ■海津市内のNPO法人

名称	認証年月	分類
セーフティサポートコミュニティ平田	平成14年3月	地域安全活動
南濃おやじの会	平成15年7月	子どもの健全育成を図る活動
アクアフィールド長良	平成16年4月	学術、文化又はスポーツの振興を図る活動
まごの手クラブ	平成16年12月	保健、医療又は福祉の増進を図る活動
ゆうゆうアテンダント	平成19年3月	障害者の自立と生きがい等を高め福祉活動の増進を図る活動

■海津市市民活動ボランティアセンター登録団体（平成19年4月現在）

地区	団体名	主な活動内容	人数
海津地区 (18団体)	喫茶ボランティア	施設での喫茶サービス	45
	食生活改善協議会海津支部	食事サービス(調理)	96
	つくし会	レクリエーション活動	20
	ひなたぼっこ	本の読み聞かせ	6
	ひまわりグループ(海津)	施設訪問活動	15
	海津陶芸クラブ	食事サービス(調理)	14
	AN	食事サービス(調理)	12
	ゆう・優	食事サービス(調理)	10
	やまびこ	広報誌の音訳	11
	手話サークル ゆかいな仲間達	手話学習会	16
	くぬぎの会	不登校・ひきこもり防止	23
	ガーデナー倶楽部	三川公園維持管理	42
	海津明誠高校	食事サービス・高齢者交流	57
	アジア障害者の会	発展途上国支援	1
	海津地区民生委員児童委員協議会	見守り活動	27
	海津地区福祉推進委員会	見守り活動	90
	海津市レクリエーション協会	レクリエーション活動	41
	海津健康太極拳クラブ	健康太極拳	44
平田地区 (14団体)	フラワーの会	食事サービス(調理)	8
	食生活改善協議会平田支部	食事サービス(調理)	56
	ヨセミテの会	清掃活動等	12
	海津カットボランティア	施設でのカットサービス	25
	サークルカンナ	社協だよりの音訳	7
	ひまわりグループ(平田)	車いす介助	7
	おっはーサロン	サロン活動	7
	らくらくサロン	サロン活動	25
	ほほえみ	サロン活動	18
	セーフティサポートコミュニティ平田	災害救援・地域安全活動	36
	ひらたガールズ	シーツ交換	5
	平田青年クラブ	地域福祉活動	11
	平田地区民生委員児童委員協議会	見守り活動	18
	平田地区福祉推進委員会	見守り活動	32
南濃地区 (26団体)	海津市赤十字奉仕団	高齢者支援活動	124
	海津救急支援ボランティアチーム	救急支援活動	31
	ひまわり会	シーツ交換・車いす介助	4
	心をつなぐ会	防犯パトロール	17
	仲良しグループ	おやつ作り	8
	志津新田ふれあいサロン	サロン活動・施設レクリエーション	9
	南濃おもちゃ図書館とろーる	おもちゃ図書館	7
	エッセンス	広報誌・社協だより点訳	8
	いきいきサロン・みどり	サロン活動	8
	そよかぜ	シーツ交換・車いす介助	5
	すみれ会	施設レクリエーション	10
	南濃町手話サークル	手話学習会・障害者支援	12
	くるま座	車いす修理	8
	みどり	食事サービス(調理)	23
	みかん倶楽部	車いす介助・シーツ交換	9
	ほほえみクラブ	おやつ作り	20
	食生活改善協議会南濃支部	食事サービス(調理)	80
	ほうれんそう	本の読み聞かせ	5
	みのサイエンスボランティア会	科学工作教室	4
	南濃一座	レクリエーション活動	7
志津ふれあいサロン	サロン活動	7	
南濃地区民生委員児童委員協議会	見守り活動	31	
海津市更正保護女性会	地域犯罪予防	95	
南濃北部地区防犯地区防犯パトロール隊	地域パトロール	24	
奥条地区城山小スクールボランティア	児童登下校の見守り	24	
わかば	食事サービス(配食)	27	
合計58団体			1,444

## 2. 市民アンケート調査の結果(抜粋)

### (1) 調査の概要

調査地域	海津市全域
調査対象者	平成18年9月1日現在、海津市に住んでいる18歳以上の市民
調査期間	平成18年9月19日(火)～平成18年10月20日(金)まで
配布数	2,000(無作為抽出)
回収数	868(回収率43.4%)

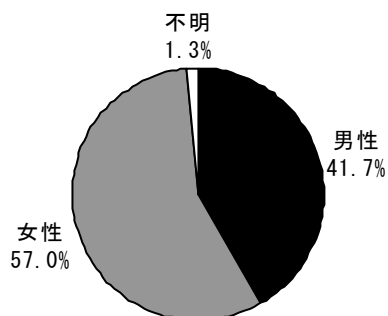
#### グラフの見方

- ・「N」または「サンプル数」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数)を示す。
- ・図表中の「SA」は単数回答、「MA」は複数回答を示す。

### (2) 回答者の属性について

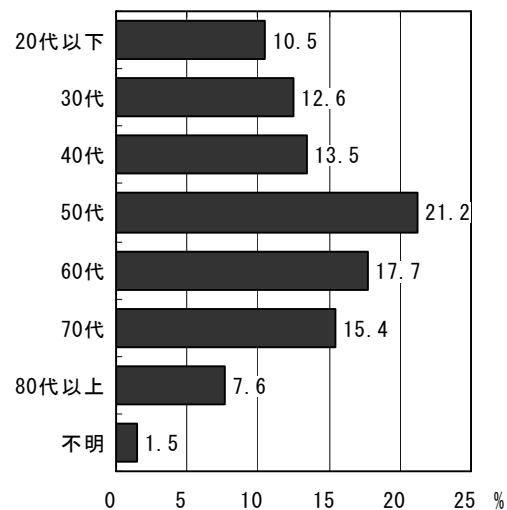
#### ■回答者の性別

(SA) N = 868

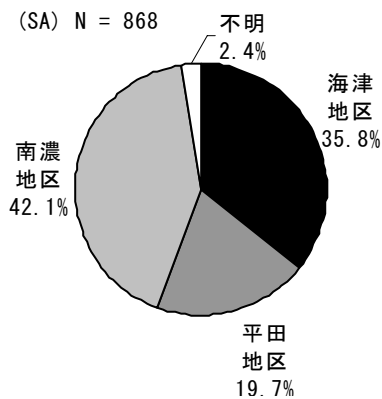


#### ■回答者の年齢構成

(数量) N = 868

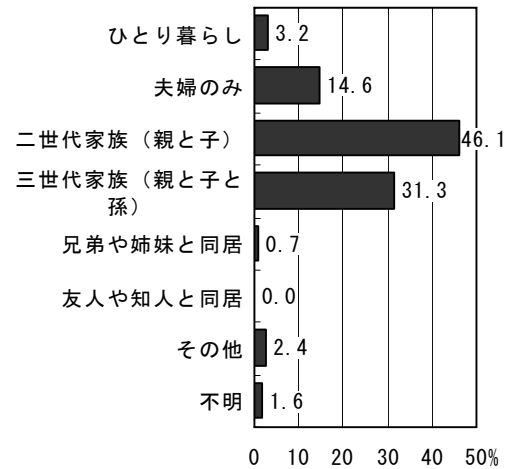


## ■居住地区



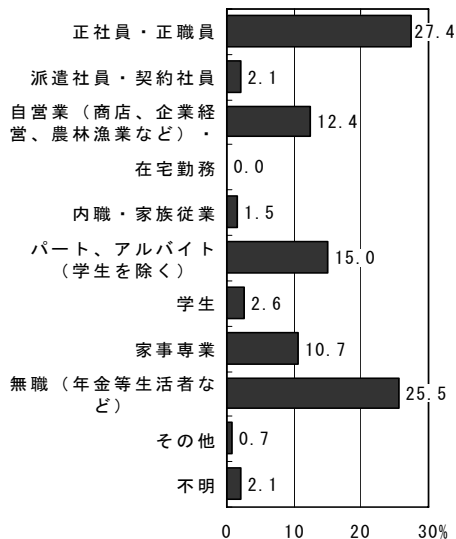
## ■家族構成

(SA) N = 868



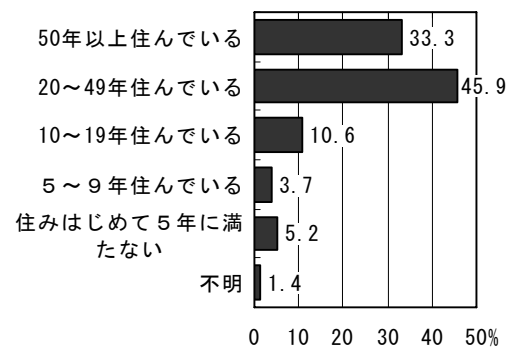
## ■主な職業

(SA) N = 868



## ■海津市での居住年数

(SA) N = 868



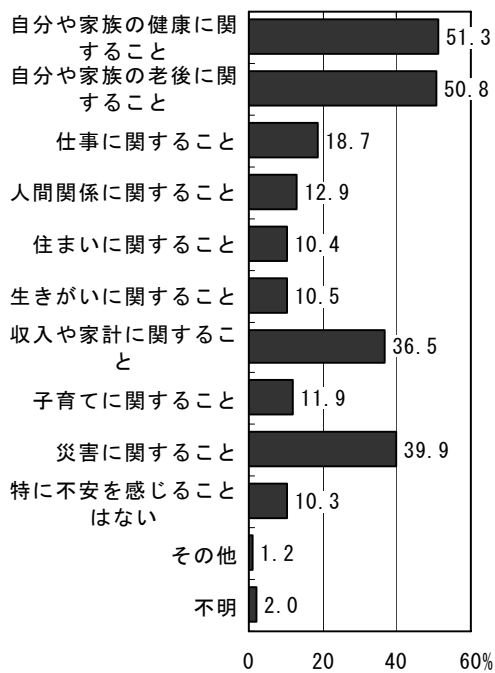
## (3) 地域とのかかわりについて

- ①毎日の暮らしの中で不安を感じることで、自分や家族の「健康に関すること」と「老後に関すること」が多く、過半数を占めています。
- ②生活をする上で困ったとき、誰かに相談したことがある人は51.0%
- ②-1 相談した相手は「家族」が最も多くなっています。
- ③ふだん近所の人との付き合いについては、年代が高くなるほど、また男性より女性の方が付き合いの程度が深い傾向がみられます。
- ④日常生活が不自由になったときに地域で「してほしい手助け」としては、「様子を見に行ったり声をかける」が最も多く、次いで「訪問したり話し相手になる」「車で送り迎えをするなど外出の手助けをする」「介護や看護をする」などが各年代ともに多い結果となっています。18~30代の特徴としては、「短時間の子どもの預かり」が他の年代に比べて多いことが挙げられます。

⑤ 「自分でできる手助け」について、上記の「してほしい手助け」と同じ選択肢での回答を求めたところ、「してほしい手助け」で多かった「様子を見に行ったり声をかける」「訪問したり話し相手になる」は、「自分でできる手助け」としても各年代ともに順位の違いはあるものの高い割合を占めています。「してほしい手助け」では多かった「介護や看護をする」は「自分でできる手助け」としては5~6%台にとどまっています。

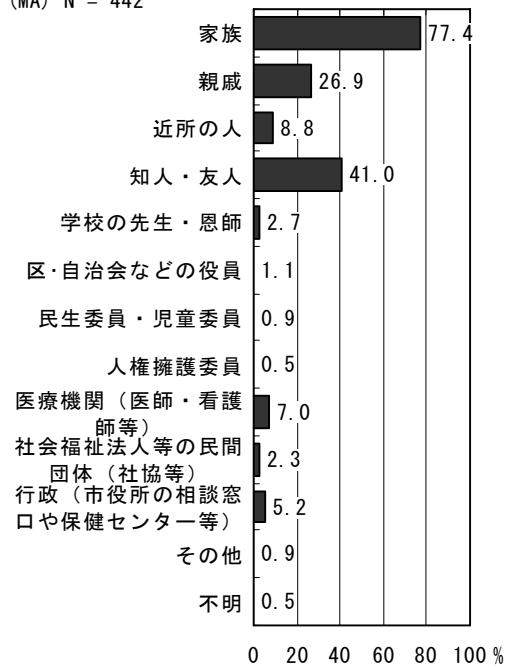
① 毎日の暮らしの中で不安に感じること

(MA) N = 868



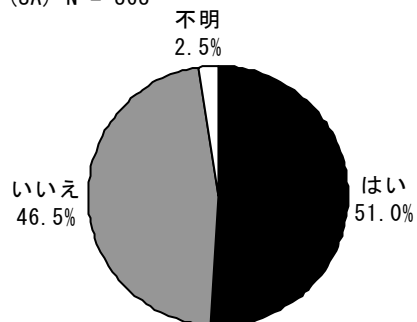
②-1 主に誰に相談しましたか(②で「はい」の人)。

(MA) N = 442

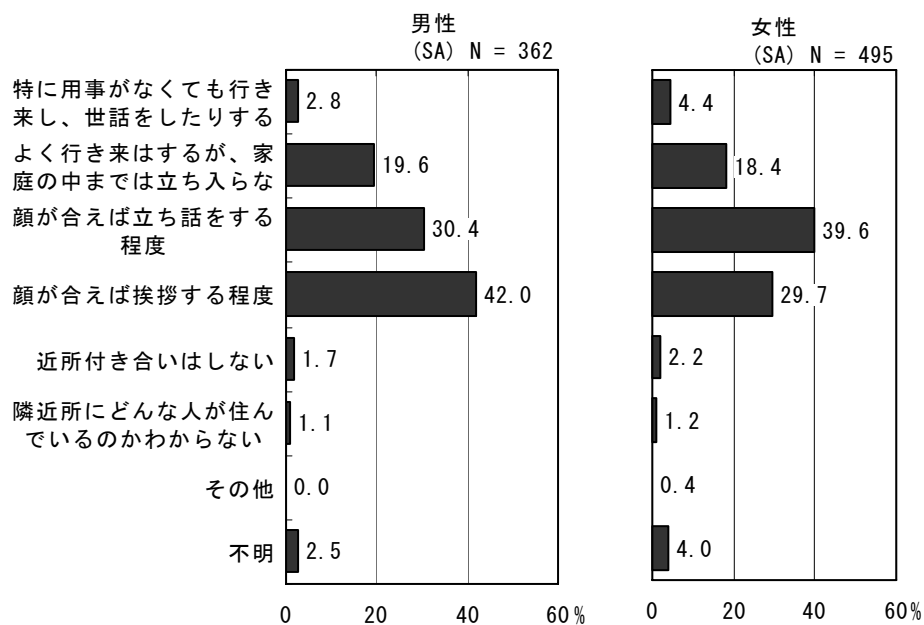
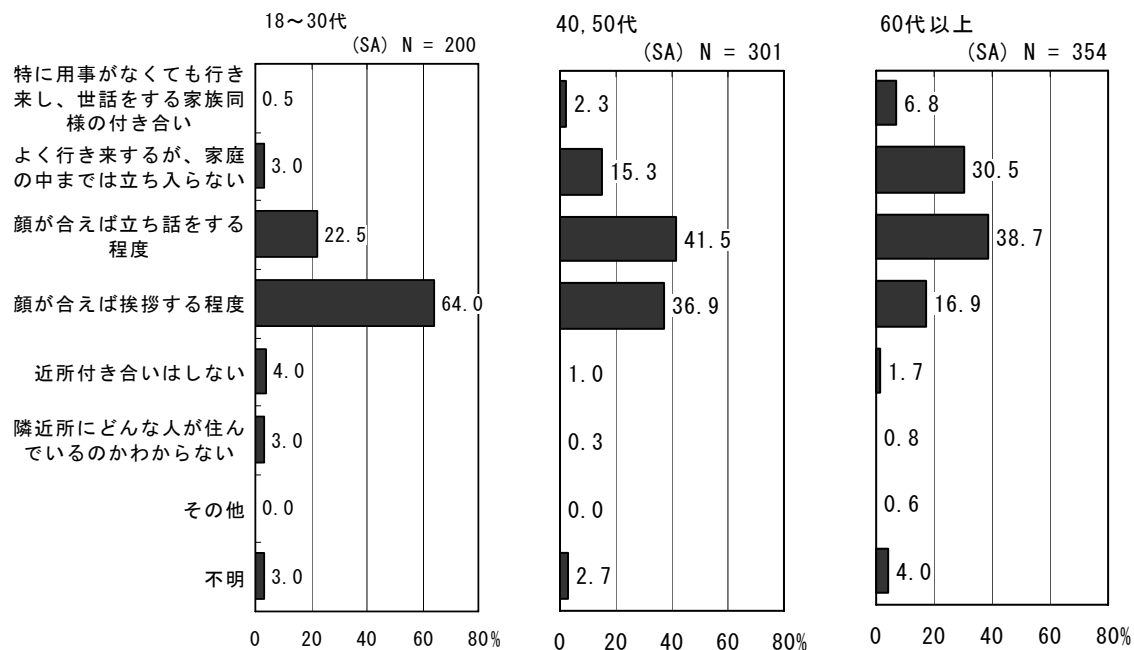


② 生活をする上で困ったとき、誰かに相談をしたことがありますか。

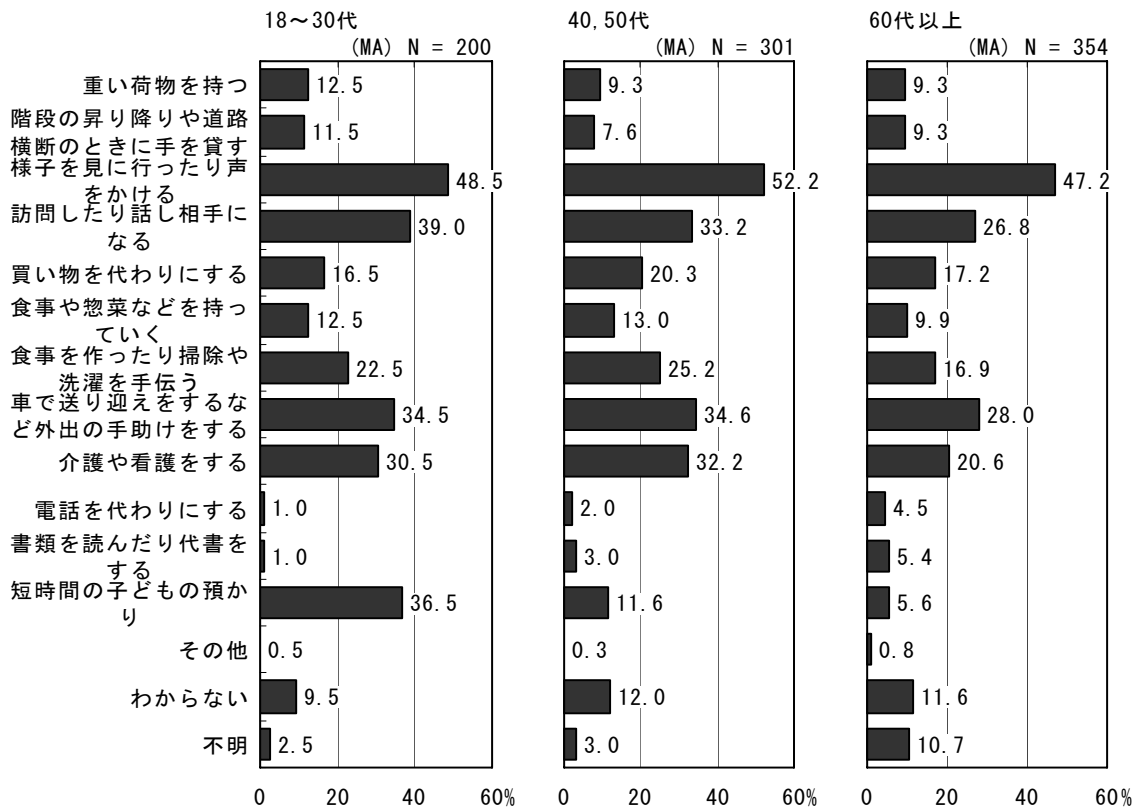
(SA) N = 868



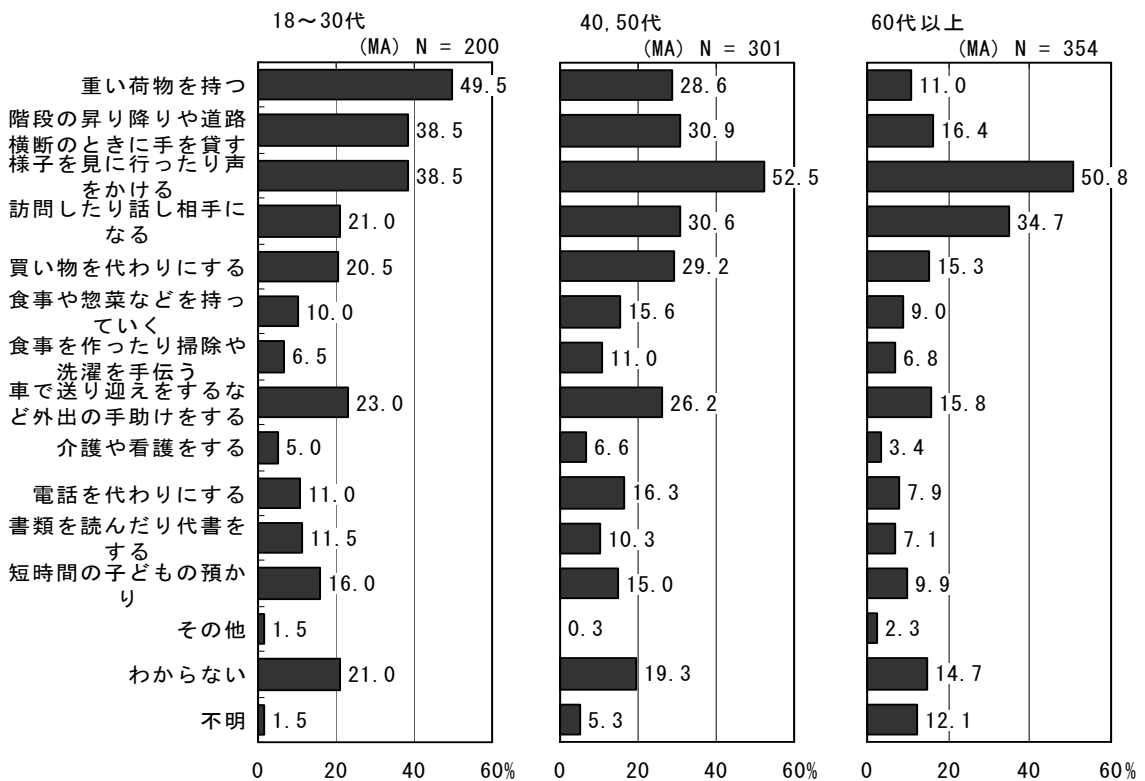
③ ふだん近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。



④ 高齢、病気、子育てなどのため、日常生活が不自由になったとき、地域でどのような手助けをしてほしいですか。



⑤ 普段の生活の中で、高齢者や子ども、障害のある人、病人のいる家庭等に対して、どのような手助けができますか。





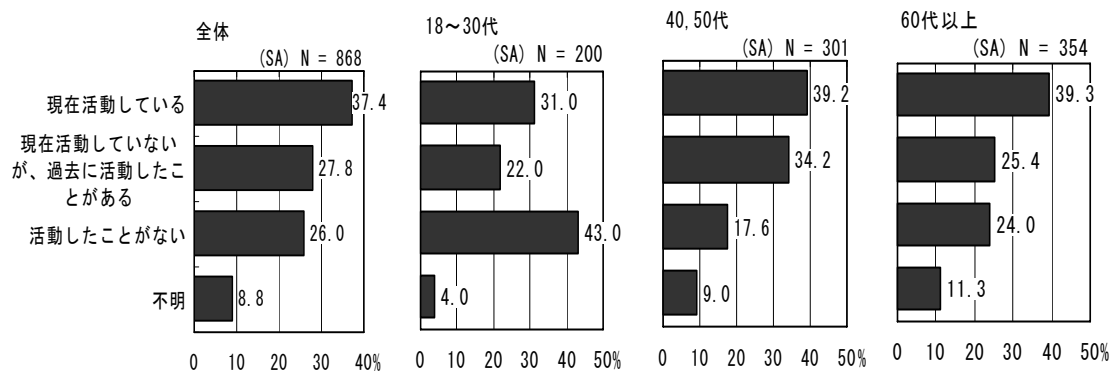
#### (4) 地域組織等への参加・活動状況について

⑥自治会等、老人クラブ、子ども会、PTA、女性の会の活動などの地域組織や地域のスポーツ団体・サークルなどの活動状況について、年代別では、18～30代は「現在活動している」より「活動したことがない」の方が多く、40、50代と60代以上は「現在活動している」が最も多い結果となっています。

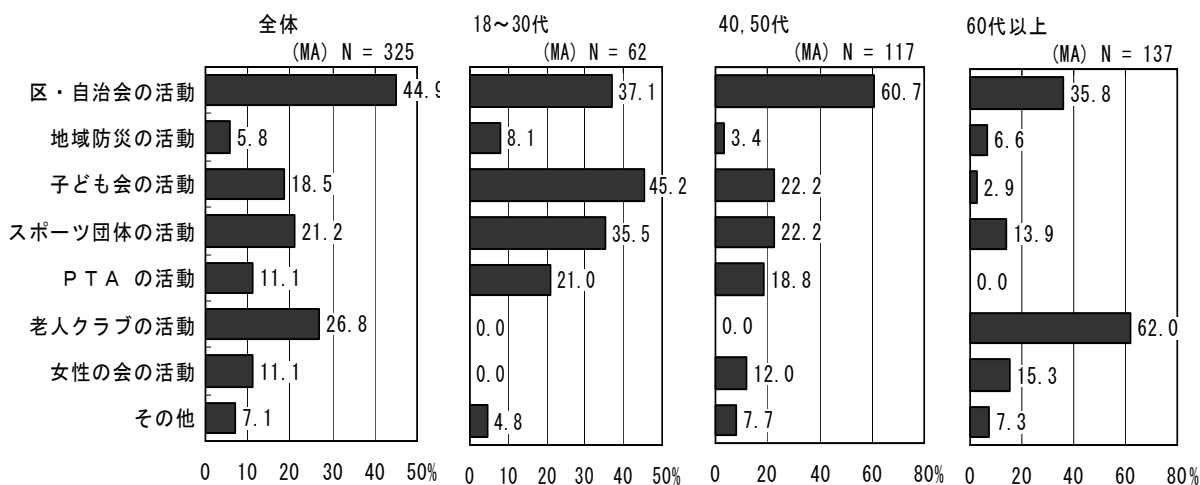
⑥-1 活動内容については、年代別では、18～30代は「子ども会の活動」、40、50代は「自治会等の活動」、60代以上は「老人クラブの活動」が最も多くなっています。

⑥-2 活動の目的については、18～30代、40、50代は「役回りなどで仕方なく」と「隣近所とのふれあいを求めて」が高い割合を示し、60代では「隣近所とのふれあいを求めて」と「自分自身の勉強や意識の向上」が高い割合を示しています。

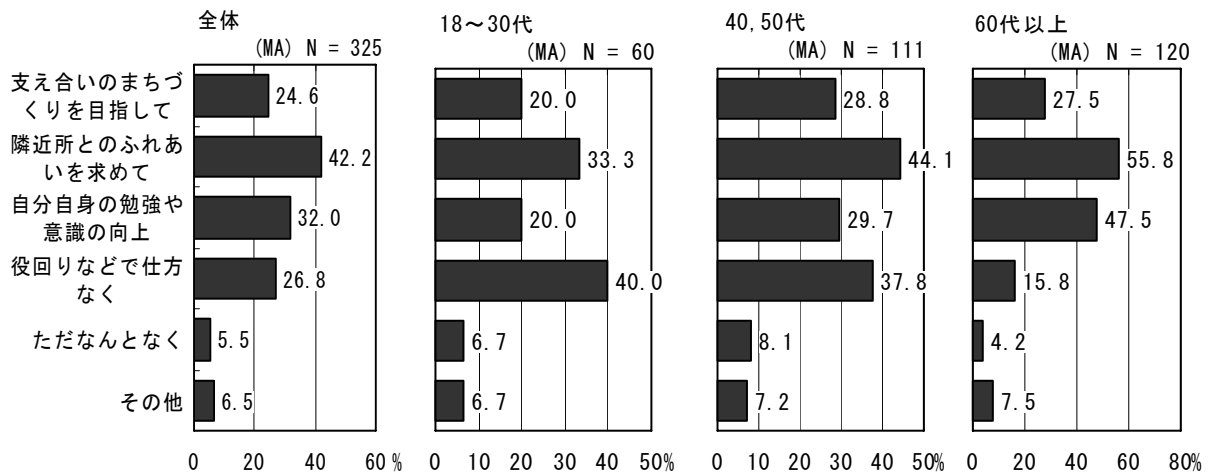
#### ⑥ 現在、自治会等、老人クラブ、子ども会、PTA、女性の会の活動などの地域組織や地域のスポーツ団体・サークル活動などを行っていますか。



#### ⑥-1 どんな活動をしていますか (①で「現在活動している」を選んだ人)。



⑥-2 どのような目的で活動していますか。



(5) ボランティア活動について

⑦ ボランティア活動については、どの年代も「全く参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」が最も多く、若い年代ほどその割合は高い結果となっています。しかし、「全く参加したことはないが、今後参加したい」とする割合も 18~30 代が最も高くなっています。ボランティア活動に関しては、

全く参加の意思がない人と、参加する意思のある人に二分されているといえます。

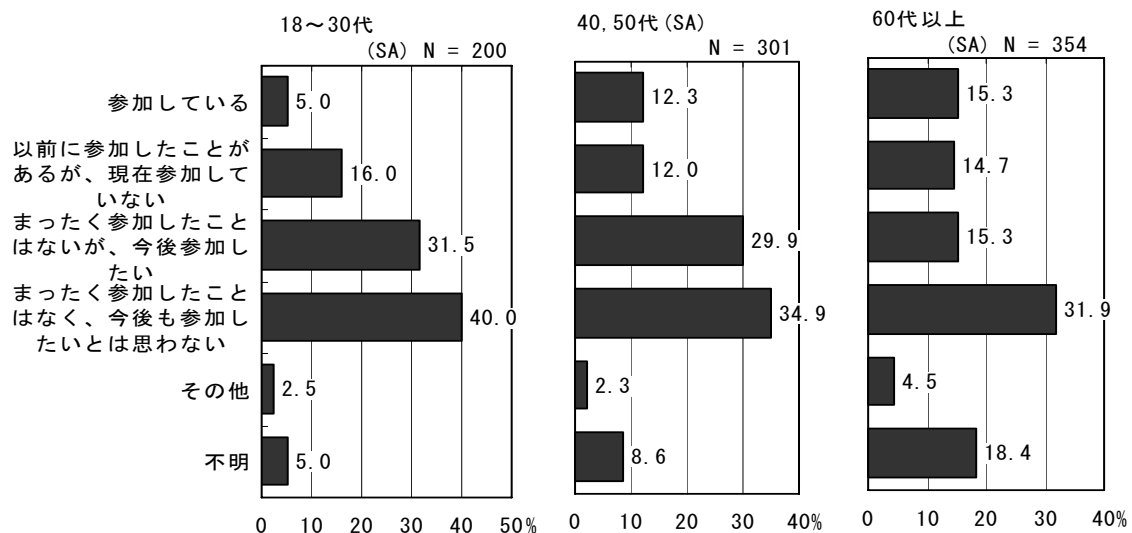
⑦-1 これまでに参加したボランティア活動の内容は、「スポーツ・文化・レクリエーション・生涯学習に関する活動」が最も多く、次いで「高齢者の援助」、「まちづくりに関する活動」となっています。

⑦-2 ボランティア活動参加の理由としては、「自分自身の向上になるから」が最も多く、次いで「支え合いのあるまちをつくるため」となっています。

⑦-3 今後参加したいボランティア活動としては、⑦-1 の項目に加えて、「自然や環境保護に関する活動」が多い結果となっています。

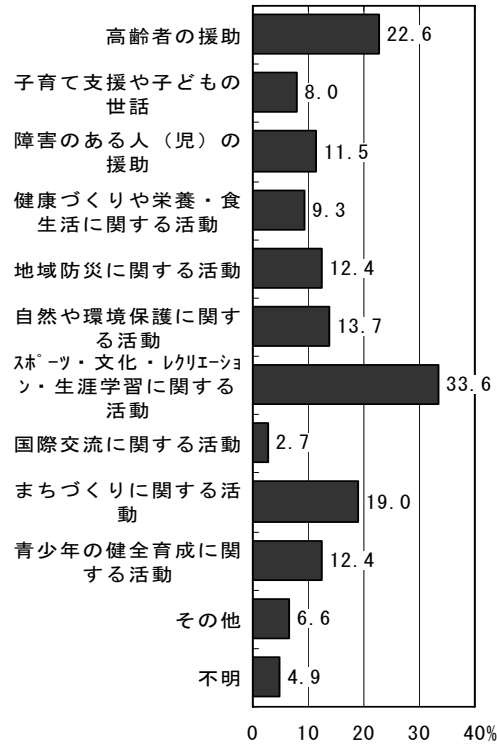
⑦-4 ボランティア活動に参加しやすくなる条件については、「自分が健康であること」、「時間や収入にゆとりがあること」が上位を占めています。

⑦ 現在、ボランティア活動に参加していますか。



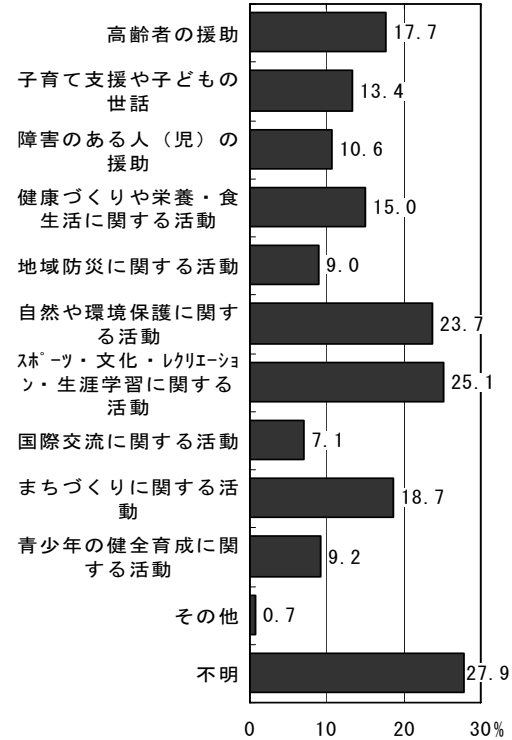
⑦-1 どのようなボランティア活動をしてきましたか（⑦で「参加」「以前に参加」を選んだ人）。

(MA) N = 226



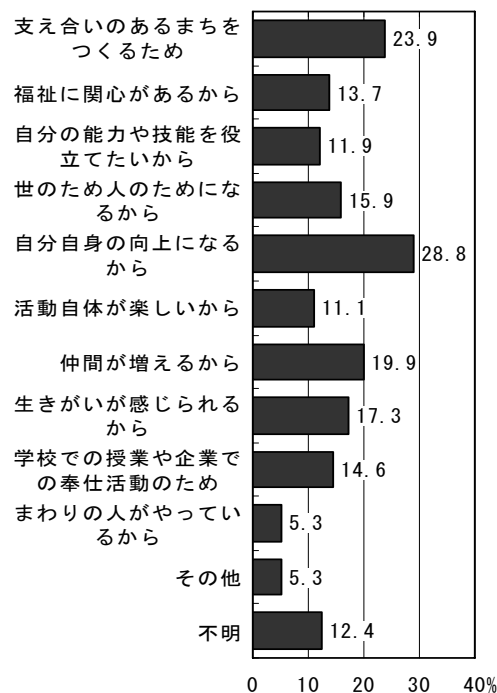
⑦-3 今後、どのようなボランティア活動に参加したいですか（⑦で「参加」「以前に参加」「参加したことはないが今後参加したい」を選んだ人）。

(MA) N = 434



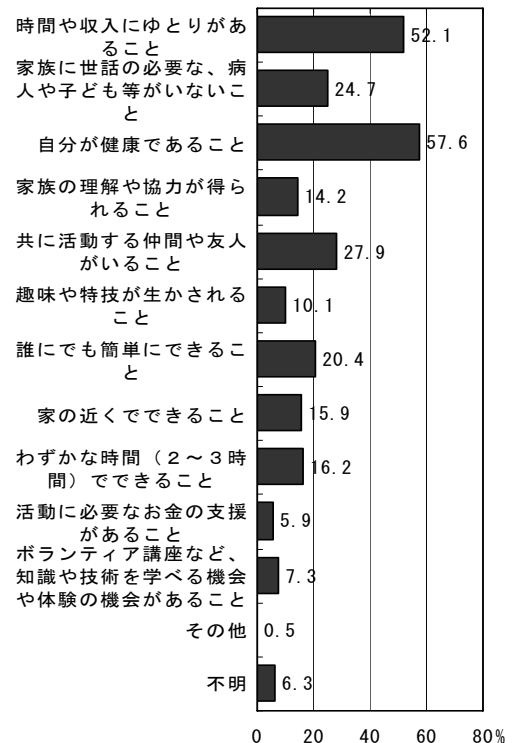
⑦-2 どのような理由から参加してきましたか。

(MA) N = 226



⑧ どのような条件が整えば、ボランティア活動に参加しやすくなると思いますか。

(MA) N = 868

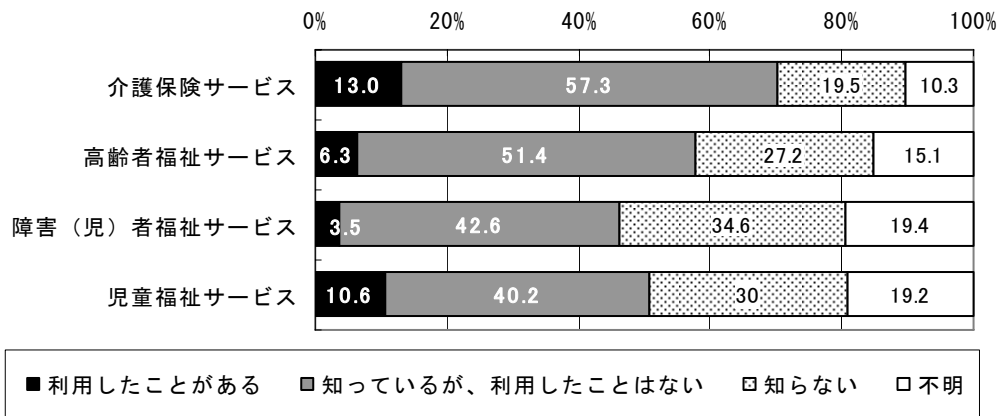


## (6) 福祉サービスに関する認知度・利用状況やこれからの福祉のあり方について

- ⑨ 海津市の福祉サービスについては、その年代に該当すると思われるサービスは利用経験が多い傾向にありますが、18～30代で「児童福祉サービス」の利用が26.0%、60代以上で「介護保険サービス」が19.8%である以外は、全体的に利用者は少なく10%未満の利用状況となっています。また、認知度については、年代ごとに、またサービスの種別ごとに違いはありますが、若い年代ほど認知度が低い傾向にあります。
- ⑩ 「民生委員・児童委員」という言葉は86.2%が知っており浸透していますが、実際に活用したケースは数%にとどまっています。また、言葉として知っていても、自分の居住地区の委員を知っている人は60代以上では6割近くいますが、18～30代では2割弱という結果になっています。
- ⑪ 「社会福祉協議会」の認知度も若い世代ほど低く、18～30代では「知らない」が半数近くを占めています。また、社協との関わりの程度はどの年代も「社協日より等機関紙を見る程度」が最も多い結果となっています。
- ⑫⑬ 「海津市保健センター」の認知度は全体として8割以上あります。そのうち利用経験があるのは3割強となっています。「地域包括支援センター」は知名度が低く、全体として6割の人が知らないと回答しています。

### ⑨ 海津市の各種福祉サービスの認知度・利用状況

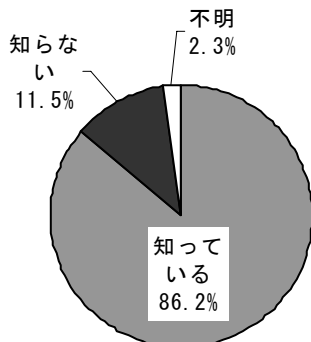
(SA) N = 868



### ⑩ 民生委員・児童委員について

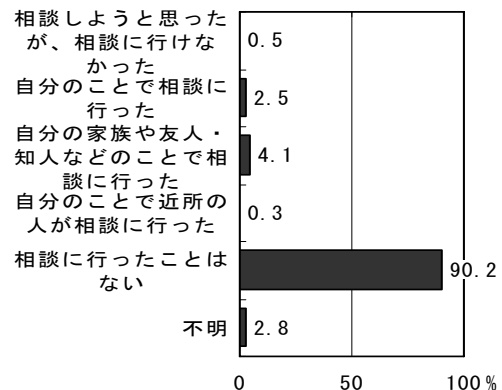
#### ⑩-1 民生委員・児童委員という言葉を知っていますか。

(SA) N = 868

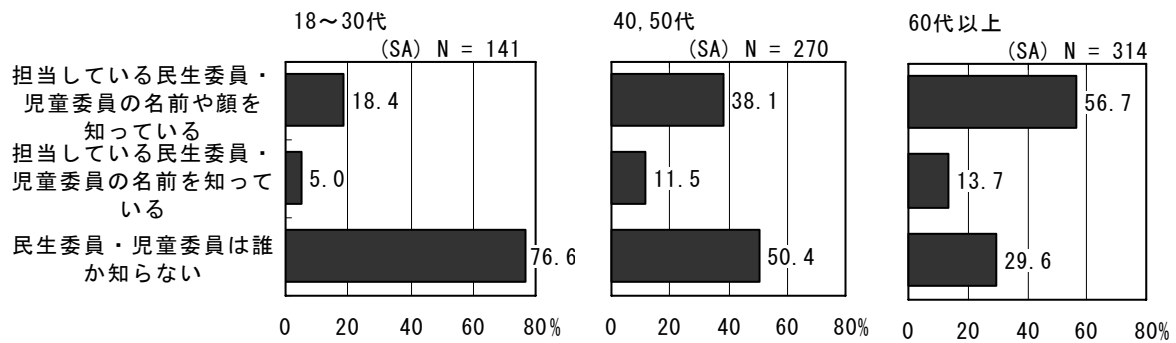


#### ⑩-2 民生委員・児童委員に相談したことはありますか。

(MA) N = 748

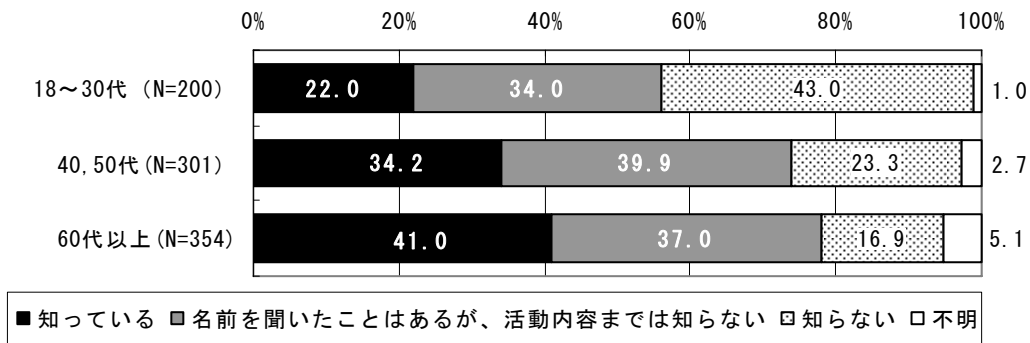


⑩-3 居住地域を担当している民生委員・児童委員を知っていますか（⑩-1で「知っている」を選んだ人）。

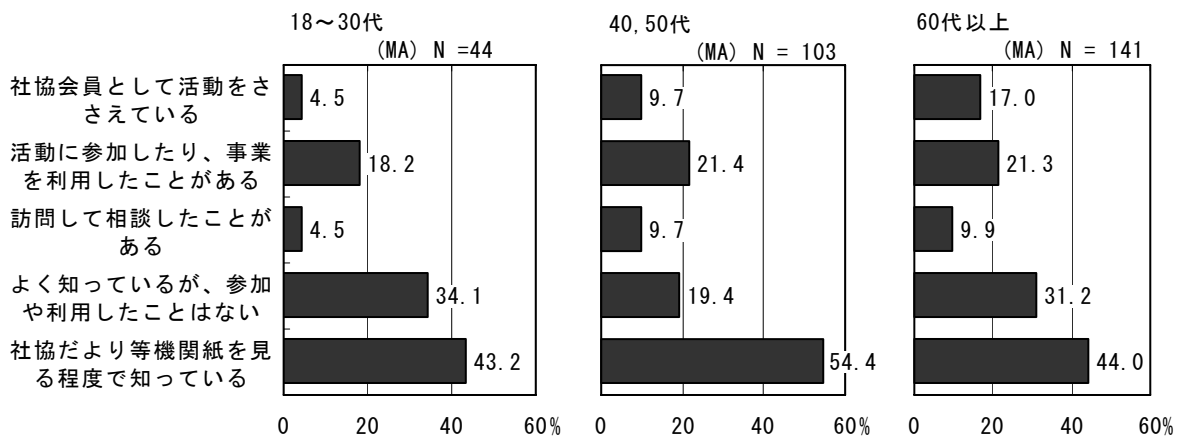


⑪ 社会福祉協議会について

⑪-1 海津市社会福祉協議会（社協）の存在や活動内容を知っていますか。

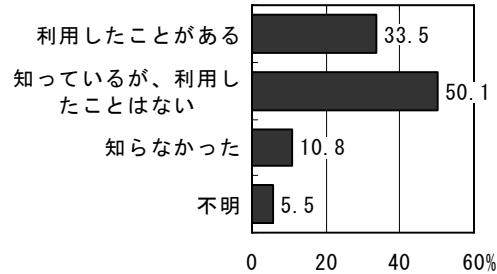


⑪-2 海津市社会福祉協議会（社協）との関わりの程度（⑪-1で「知っている」とした人）。



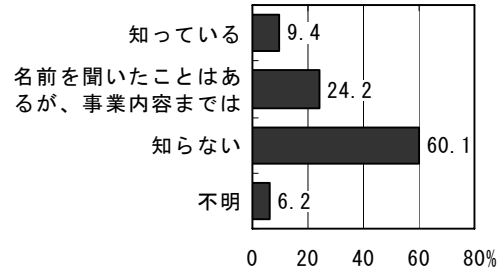
⑫ 海津市保健センターを利用したことがありますか。

(SA) N = 868



⑬ 海津市地域包括支援センターを知っていますか。

(SA) N = 868



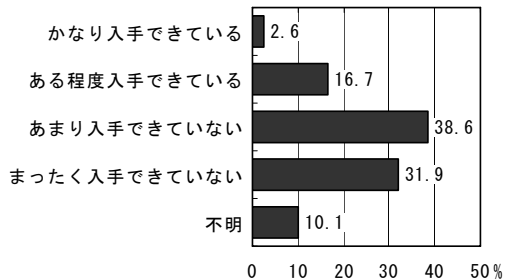
⑭ 「福祉サービス」に関する情報の入手の程度については、「かなり」から「ある程度」まで「入手できている」人は2割弱で、「入手できていない」人が7割を超えています。

⑭-1 情報の入手先として多いのは、「市役所の窓口や市報かいつ」と「社会福祉協議会の窓口や社協だより」となっています。

⑮ 日常生活において、今、感じている生活のしづらさについては、「金銭的・経済的なこと」「身体的なこと」が多数を占めています。具体的内容としては、「金銭的・経済的なこと」では「税金の負担が多い」「子どもの教育に費用がかかる」「収入が少ない」「年金だけで生活が苦しい」などが多く、「身体的なこと」では「足腰や手、膝が痛い」「寝たきり」「体力の衰え」「家族の介護」などが多い結果となっています。その他として最も多いのは「公共交通機関が不便なこと」となっています。

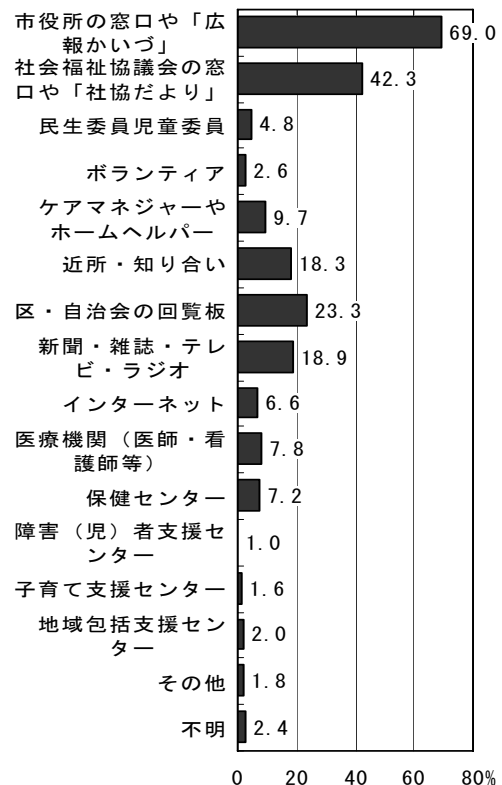
⑭ 福祉サービスに関する情報をどの程度入手できていると考えますか。

(SA) N = 868

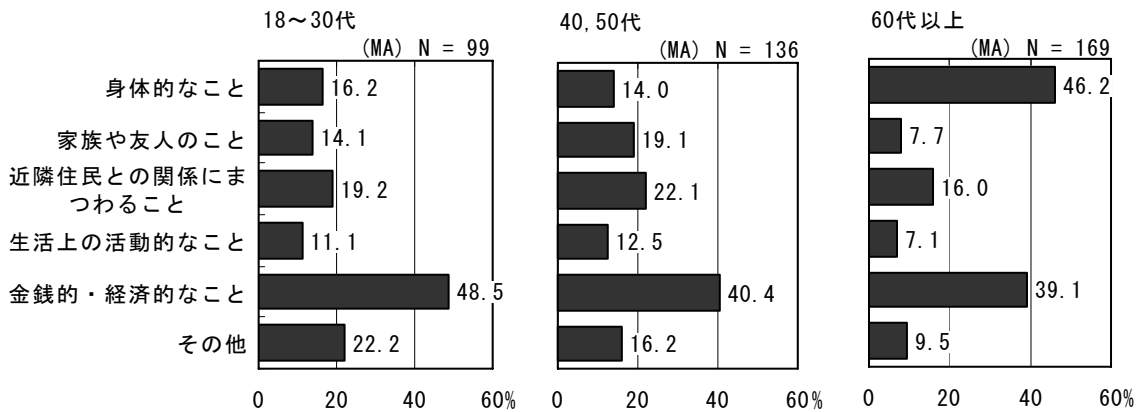


⑭-1 福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか (⑭で「かなり入手」「ある程度入手」「あまり入手できていない」を選んだ人)。

(MA) N = 503



⑮ 日常生活において、今、どんなことに生活のしづらさを感じていますか。



⑯生活のしづらさを解消する方法として、地域福祉の視点からの回答を求めたところ、

⑯-1「理想の地域社会」のイメージは「地域住民が助け合える社会」「子どもからお年寄りまでが安心して生活できる社会」「公共交通機関の充実した社会」などが多数を占めています。

⑯-2「あればよいと思う市民活動」としては、具体的な、あるいは概念的な活動内容や活動形態など様々な意見がありますが、活動形態として「誰もが気軽に参加しやすい」「負担にならない」「身近なところで行える」「誰もが楽しめる」「参加してみたいくなる」「拘束されない」「地域に密着した」「活気ある」「短時間でもできる」「みんなが関心を持つことができる」といった言葉が多く出ており、これらは地域福祉を支えていく上で必要な市民活動を推進していくための重要なキーワードと言えます。

⑯-3「あればよいと思う社会的制度（サービス）」としては、「巡回バスの充実」「子育て支援サービス」を筆頭に様々な意見が出ています。

⑰今後、海津市が優先して取り組むべき施策の上位5位は、「①高齢者や障害（児）者が在宅生活を続けられるサービスの充実」「②地域の住民が気軽に立ち寄れる自由な交流の場の設定」「③住民がともに支え合う仕組みづくりへの支援（住民同士や行政との協力・連絡など助け合う組織）」「④高齢者、障害（児）者、児童の福祉施設の整備」「⑤身近なところでの相談窓口の充実」となっており、どれも20%を超えています。

⑯ 生活のしづらさを解消する方法として

⑯-1 どんな地域社会であればよいと思いますか（理想の地域社会はどのような社会ですか）。

内容	件数(上位3位)
地域住民が互いに助け合える社会	32
子どもからお年寄りまでが安心して生活できる社会	20
公共交通機関の充実した社会	11

⑯-2 どのような市民活動があればよいと思いますか。

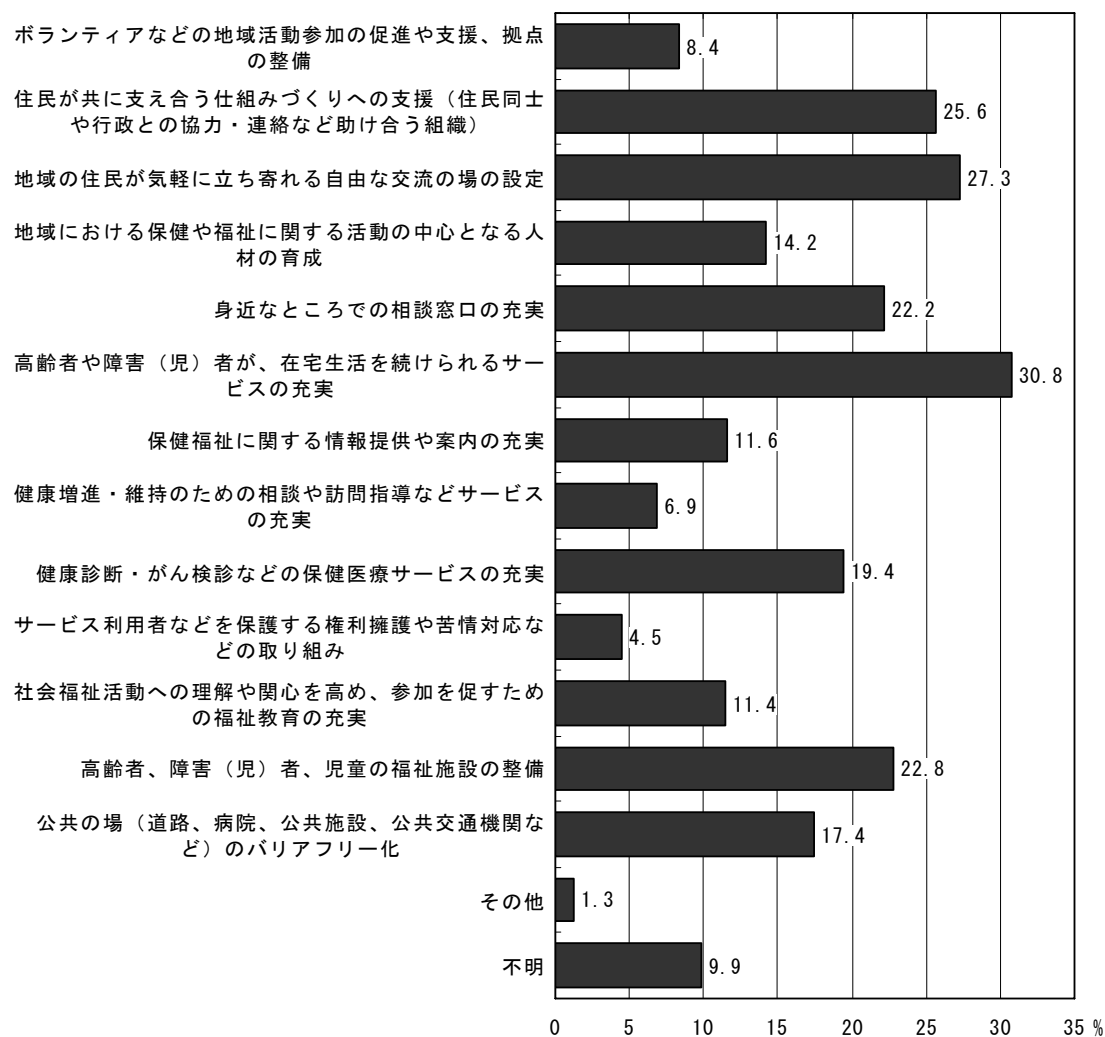
内容	件数(上位3位)
誰もが気軽に参加しやすい活動	13
草ひきやゴミ拾い活動	6
負担にならない程度の活動	4
防犯パトロール活動	4

⑩-3 どのような社会的制度（サービス）があればよいと思いますか（行政サービス・民間サービスを含めて）。

内容	件数(上位3位)
巡回バスの充実	10
子育て支援サービス	5
身のまわりの世話をしてくれるサービス(掃除・食事・買い物等)	3
子どもや高齢者を安心して預けられるサービス	3
いろんな情報を地域住民に広めるサービス	3
何でも相談できる窓口	3
医療費の助成	3
老人ホームの整備・増設	3

⑪ 今後、海津市が取り組むべき施策として、次のうちどれを優先して充実すべきだと思いますか。

(MA) N = 868





## 3. ワークショップ会議のまとめ

---

### (1) ワークショップ会議の参加者

地域福祉計画の理解・浸透を図り、実効性をより高めていくため、市民参加による計画作りの一環として、次の4団体によるワークショップ方式での会議を実施しました。

#### ①市民福社会議公募委員によるワークショップ会議

公募市民19人を年代別に3グループに分け、ワークショップを4回実施しました。

- ・第1部会（きらり会）：30歳代 5名
- ・第2部会（快会の会）：40・50歳代 7名
- ・第3部会（そうかい）：50・60歳代 7名

#### ②ボランティア連絡協議会ワークショップ会議

ボランティア連絡協議会に登録しているボランティアの方から48名の参加を得て、3グループに分け、ワークショップを3回実施しました。

- ・第1部会（ヤッホー） 16名
- ・第2部会（やまびこ） 16名
- ・第3部会（やすらぎグループ） 16名

#### ③民生委員児童委員協議会ワークショップ会議

各地区から計19名の民生委員の方の参加を得て、地区ごとに3グループに分け、ワークショップを3回実施しました。

- ・海津地区（カエルクラブ） 6名
- ・平田地区（こん平田） 6名
- ・南濃地区（フルーツ） 7名

#### ④岐阜県立海津明誠高等学校ワークショップ会議

1年生から3年生まで、生活福祉科15名、普通科6名、情報処理科1名の計22名を2グループに分け、ワークショップを3回実施しました。

## (2) ワークショップ会議の内容

実施工程	内 容
オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップについての説明。</li> <li>・グループ分けとグループの愛称を決定。</li> </ul>
第1回	テーマ：「海津市の現状を見つめよう」 (海津市の「良いところ」、「悪いところ」について意見を出し合う。)
第2回	テーマ：「地域の理想像ー理想的な海津市の将来像を考えるー」 (「地域がこんなふうになっていたらよいな」「こんな活動や取り組みがあったらよいな」等を話し合う。)
第3回	テーマ：「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」 (第2回で出た意見を「自助」「共助」「公助」に分けてみる。)
第4回 (市民福社会議のワークショップのみ)	テーマ：「前回のワークショップ・他の部会のワークショップ報告を踏まえ、地域でできること(=共助)を各年代別で考えよう」 (これまで考えた理想の将来像の達成のために自分の年代でできること、他の年代にがんばってもらいたいことなどを考える。)

## (3) 各団体のワークショップ会議のまとめ

ワークショップ会議では、毎回、テーマに基づいて、参加者が意見をポストイットカードに書き、書いたカードを発表しながら模造紙に貼っていきました。その際、似通った意見やジャンルなどは1ヶ所にまとめるよう、大まかに分類しながら貼り付けていきました。ある程度、カードがまとまると、カードの分類名やフレーズを模造紙に書き込んでいき、模造紙を完成させたら、各グループごとに発表を行ないました。

以下は、4団体が各回、それぞれにまとめた模造紙の内容を整理したものです。  
 (ポストイットカードに書かれた内容表現のままにしています。)

# 市民福祉会議／きりり会

## ■第1回ワークショップ

テーマ：「海津市の現状を見つめよう」  
～海津市の良いところ、悪いところ～

### 良いところ

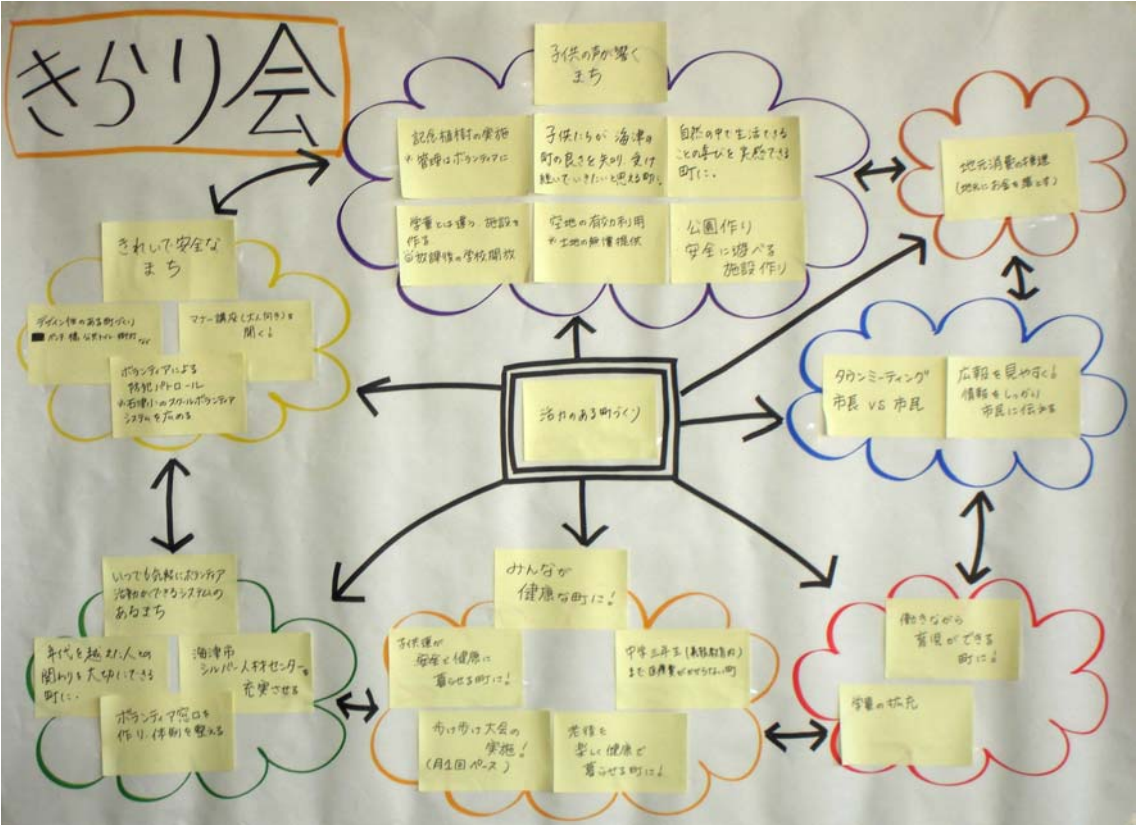
- 自然
  - ・のどか
  - ・四季が感じられる
  - ・家で収穫した野菜がすぐに食べられる
  - ・水と空気がおいしい
  - ・のんびりしている
  - ・何も無い
- 行政サービス
  - ・育児教室がたくさんある
  - ・市民プールの教室が充実している
  - ・予防接種の情報がしっかりしている
  - ・子どもが広々と遊べる良い公園がある（木曾三川公園）
  - ・ゴミ分別をしっかりとしている
- コミュニティ
  - ・老人会や自治会などの活動が活発である
  - ・スクールボランティアさんが、がんばって子ども（石津小）を見守ってくれている
  - ・地域の人が親切

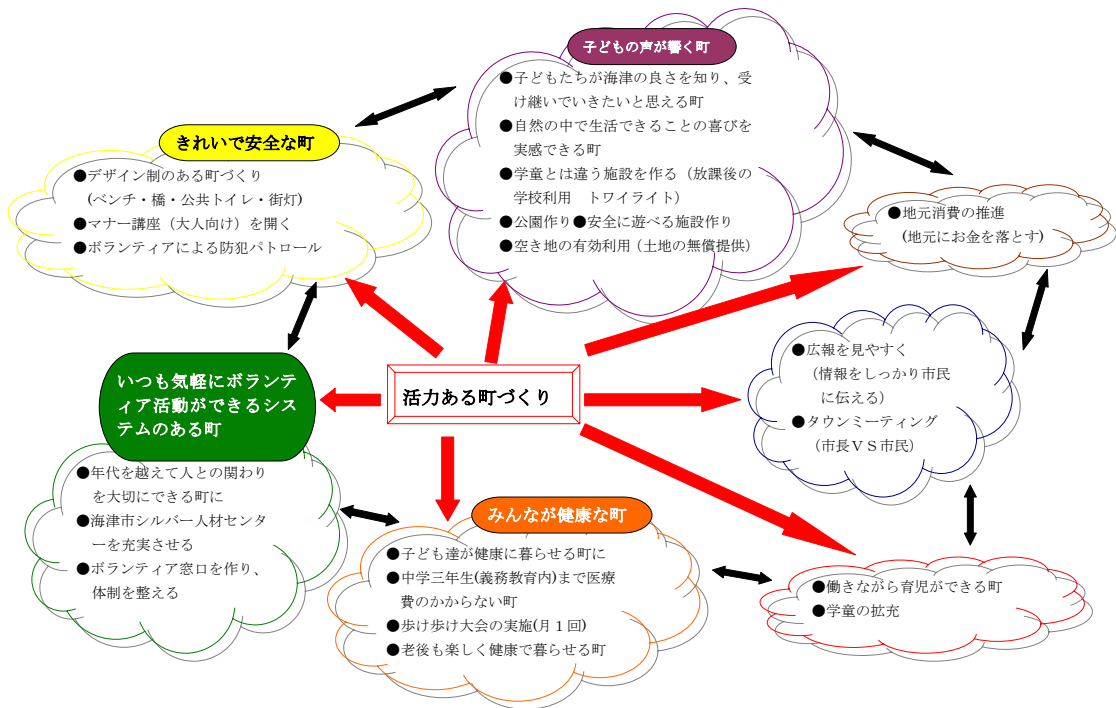
### 悪いところ

- インフラ
  - ・街灯が少ない
  - ・踏切が狭い
  - ・道路にゴミや糞が落ちている（国道は時にひどい）
  - ・道路が狭くてボコボコしている
  - ・歩道が無くて危ないところが多い
  - ・近鉄養老線が廃線にならないか心配
  - ・徒歩でいける児童公園が少ない
- 市民サービス
  - ・水晶の湯に市民割引を作してほしい
- ボランティア
  - ・地域のボランティア活動を増やしてほしい
  - ・ボランティアの意識が低い（学校教育）
- 教育
  - ・子どもの数の減少により集団生活が不成立（1クラス5～7人）
  - ・学校が遠い
  - ・保育園や幼稚園の制度が統一されていない
- 不便
  - ・車がないと生活できない
  - ・働くところが少ない
  - ・働く環境がない
  - ・店（商業施設など）が少ない（地域によってかたよがある）
- 希望
  - ・老人の車の運転が危ない
  - ・若い人が将来、海津市に残って生活したいという気持ちが少ない
  - ・小児科が少ない

## ■第2回ワークショップ

テーマ：「地域の理想像－理想的な海津市の将来像を考える－」

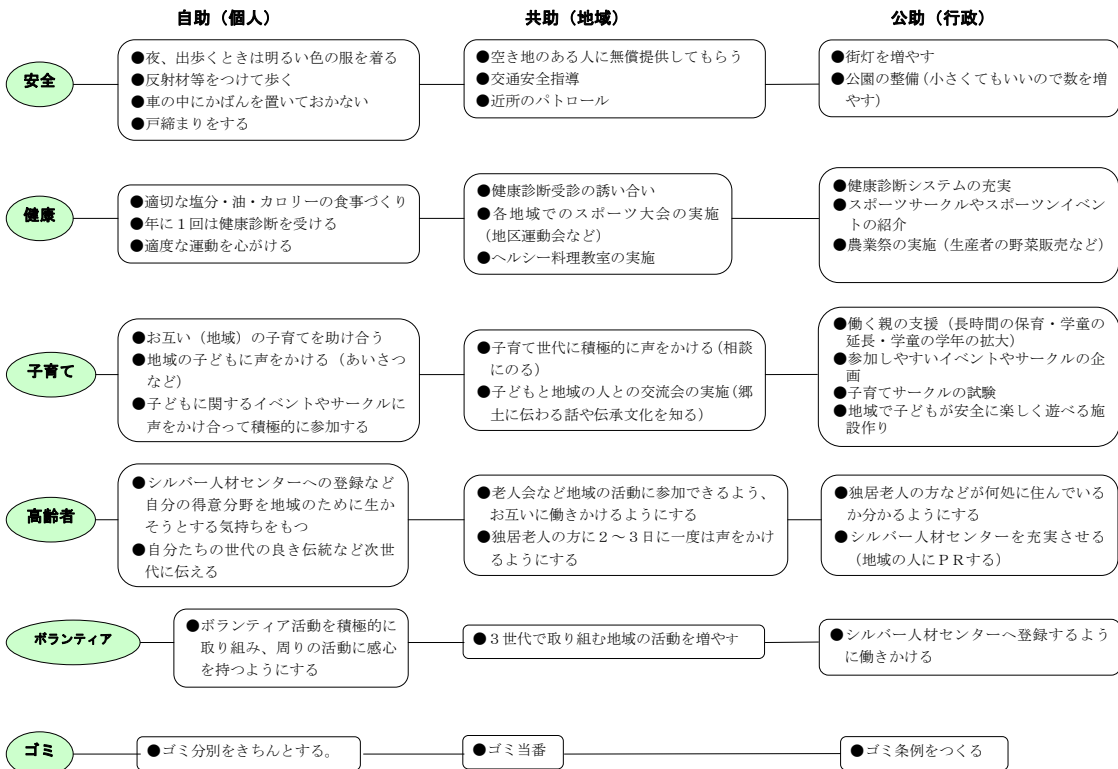




### ■第3回ワークショップ

テーマ：「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」

#### パワーアップ海津 ~活力ある町づくり~



## ■第4回ワークショップ

**地域でのコミュニティーを深く広く！**

テーマ：「前回のワークショップ・他の部会のワークショップ報告を踏まえ、地域でできること（＝共助）を各年代別で考えよう」

- 地域行事の継続に力を入れる
- 声かけ（地域連帯）＝井戸端会議
- イベントの発案（おたのしみ会）
- ボランティア団体を作り、各団体の紹介ができる機会をもつ（各ボランティア団体の交流）
- 市内のPTAや自治会が集まる時に、見守りパトロールについて話し合い、活動を広げる
- 自治会（区）で幅広い交流の場を作る（地域の清掃・スポーツ大会など）
- ヘルシー料理教室の実施（家庭で採れた野菜や自然の中で採取できるものを利用・地域の主婦が講師）
- 子どもと地域の人との交流会の実施（郷土に伝わる話や伝承文化を知る）
- 個々による声かけや助け合いが必要（目配り・気配り・心配り）

## 市民福祉会議／快会の会

## ■第1回ワークショップ

テーマ：「海津市の現状を見つめよう」～海津市の良いところ、悪いところ～

観 光	
観光客が多い	有名な施設（稲荷・温泉）がある
観光資源が多い	温泉が色々ある
年中観光客があるまち	安い温泉がある
国営公園がある	歴史的建物がある
トライアスロン公認コースがある	千本松原のひとつ
河川数での遊びが多くて良い	教科書にも載る輪中
道の駅が2ヶ所ある	宿泊する所が少ない
観光資源をいかしきれていない	田・信号等にごみが多い
河川にゴミが落ちている	ポイ捨てが多い
公衆トイレがきたない	

交 通	
新幹線の駅に近い	市バスの利用者が少ない
夜が暗く感じる	市バスはお年寄りの乗り降りがしにくい
夜道になると暗い	交通は自動車とバスだけ
平田町は街灯が少ない	電車通学の最寄駅までの道路が狭い
交通渋滞が発生する（観光地）	子どもの通学路が安心して通えない（平田町）
交通（公共）が不便	道路が同じ大ききで事故が心配
公共交通機関が不便	死亡事故（道路）となるケースが多い
学生にとって高校が遠い	
交通の便が悪い	

産 業	
海津のトマトは全国トップクラス	特産品が少ない
農業生産は県内ではトップクラス	農業（野菜・果物）の加工場がない
農産物の主要産地である	

自 然	
景色が美しい	自然が残っている
自然が多く住みよい	水がきれい
自然がいっぱい	土地は広いが田畑ばかり
自然災害に弱い地域（洪水・土砂崩れ等）	

行 政	
堤防がきれいに整備されている	木曾三川の堤防の丈夫さは全国トップクラス
市になって2年、市の「核」がない	地域の特色がひとつに絞れていない
三町によってバラバラ	広報（無線）が聞きとりにくい

地 域 生 活	
三世代に渡っての交流が多い	近隣の付き合いがある（助け合い）
子供が他県へ出て行ってしまってもいずれば帰ってきてくれる	誰にでもあいさつができる
物価が安い	静かで住みやすい
買い物に便利	市全体が明るいイメージがあり、すがすがしい
あたたかい人情がある	新しい野菜が買いやすい
人がやさしい	大都市に近い
近所付き合いがやたら広い	全体的に古い体質が多い
新しい物・人を受け入れるのに時間がかかる	公園などの活用が悪い
早く店が閉じてしまう所が多い	子どもが安心して遊べる公園がない
福祉が遅れている	福祉に対して理解している人が少ない
	芸術にふれあうことが少ない

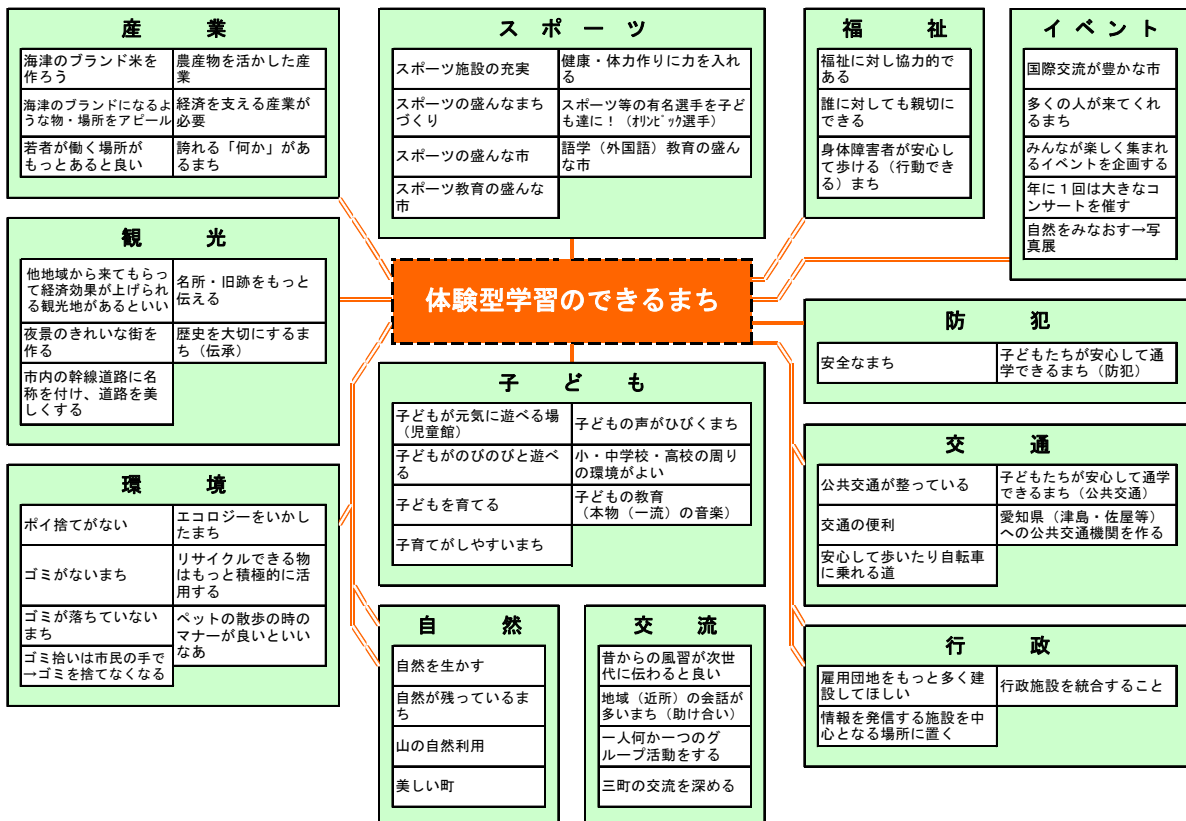
子 ども	
子どもたちが素直	子どもが少ない
	少子化が進んでいる

良いところ	わるいところ
-------	--------



## ■第2回ワークショップ

テーマ：「地域の理想像－理想的な天津市の将来像を考える－」



### ■第3回ワークショップ

テーマ：「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」

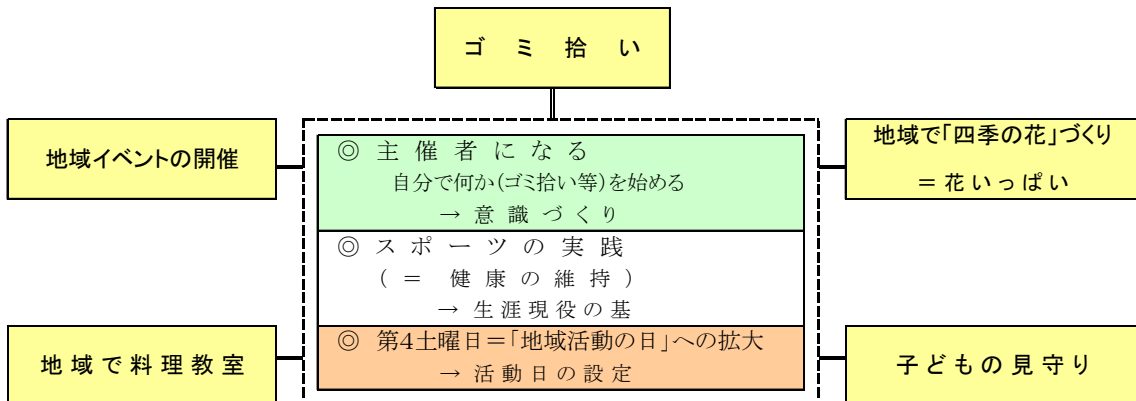
#### 体験型学習のできるまち ～生涯現役～

<b>教育</b> 「イオンタウン」の受け入れを積極的に行う 学校行事に参加していく 留学制度を作る 「教育特区」に立候補し、語学教育に力を入れる 教育をいかした正しい食生活、病気になるらない食事方法 青少年の育成に力を入れる。教育が大切・頑張る先生を！ 海外交流を深めることで触れ合う機会を持つ	<b>市民交流</b> 早く三町が集える場所、中心地を決める 各項目ごとにスローガンを作って市民に訴える 地域の紹介（広報誌）	<b>スポーツ</b> スポーツクラブに参加する スポーツ施設を借りる手続きを簡単にする スポーツ施設を使用するのをもっと簡単に、もっと安く 管理人さんのいる施設は空いていたら使えるようにしてほしい オリンピック選手の育成 「地域型総合スポーツクラブ」の確立を目指す 優秀なスポーツ選手を招いて教室を開く いくつかのスポーツ教室を開くことで市民の興味・関心を高める	<b>イベント</b> イベント企画のお手伝い イベントの発案 木曾三川公園を使った音楽等のイベント 国際会議ができるイベント（交流） 国内外のスポーツイベントの誘致 山あいを会場にしてイベントを行う	<b>福祉</b> 福祉ボランティアに積極的に参加する ボランティア登録＝活動 車イスの人でもできる農業の提案 ノブレス・オブ・リージ（地域住民の助け合い）
<b>環境</b> 家の周りのゴミ拾いを心掛ける 自分の家の周りくらいはきれいにする ゴミの分別をする 地域の清掃は地域の手で 市民ひとりひとりの環境に対する考え方 市民総出でゴミを拾う日を作る（例えば防災訓練のあとで） 環境問題に対する人・物のわたり作り ロハスな心掛け エコ商品・エコ産業の案内 市民の心がまえ 通学路清掃を地域で定期的に行う リサイクル用ゴミ箱を置く（いつでも回収可能）	<b>観光</b> 歩く広告塔 寺尾・高須・野野・木田の商店街の活性化を考える 新しい観光地(?)の発見 ハリヨをいかした交流会 観光のみやげの目玉作り 観光地等の整備 名所・旧跡の看板を統一して作る モデル都市 マスコミとの連携・PR	<b>地域</b> 地域行事の継続に力を入れる 地域で集まる機会を持って、お楽しみ会を行う 近隣ふれあいネットワーク事業を今後も地域で継続する 地域ごとに三世交代流事業をする（自分達で） 子育て経験者（地域内）との交流 声かけ（地域連帯）＝井戸端会議 相談できる場所を作る	<b>子ども</b> 声かけをする（あいさつ等） お互いがあいさつする 「あいさつ運動」に参加する 子どもを育てる／通りで子ども達を見かけたら気軽に声をかけて顔見知りになる 交通ボランティアの人が要所に立って見守る スクールボランティア 声掛けをする 地域の子どもは地域の宝 地域のおとなの人が子ども達の登下校の時間に見守ると良い 市内中学校のスクールバス制度の導入 パトロールの強化	
<b>産業</b> 農産物・特産品開発のクラブ 地域の農産物を使った商品開発のバツ7777 農産物の加工品を作る（夫人の力で料理の工夫） 技術指導	<b>交通</b> 主要駅までの直行便 エコロジーな交通機関の提案 公共交通の再編 「セト7」へのフェリーを揖斐川沿いに運行する計画を立てる（大垣・セト7間）	<b>その他</b> 歴史・名所の語りべ 生涯現役 生涯学習体系作りのお手伝い 名所・旧跡を説明できる人を育てる		

### ■第4回ワークショップ

テーマ：「前回のワークショップ・他の部会のワークショップ報告を踏まえ、地域でできること（＝共助）を各年代別で考えよう」

#### 行動目標：「生涯現役で地域活動」



■ 第1回ワークショップ

テーマ：「天津市の現状を見つめよう」～天津市の良いところ、悪いところ～

良いところ

自然が豊か

- ・ 空気がきれい
- ・ 水がうまい
- ・ 養老山脈の裾の朝は空気がすがすがしい
- ・ 小鳥のさえずりで目がさめる
- ・ 我が家の庭にホタルが来る

福祉の充実

- ・ 老人福祉施設が充実している
- ・ 大きくみて福祉はやや整っている
- ・ 社会福祉協議会が高齢者の事業を活発におこなっている

観光資源が豊富

- ・ 各地区（旧町ごと）に観光施設がありよい
- ・ リバーサイドプラザ（長良川）が最近にぎやか（活用されている）
- ・ お千代保稲荷は今も賑わっている

地域のつながりが濃い

- ・ お年寄りが元気
- ・ 人間はとても穏やかである
- ・ 子どもと老人会との交流はよい
- ・ 三世代の清掃活動はよい
- ・ 近所との連帯感はとてもよい
- ・ 道の駅ができ農家の人は一所懸命頑張っている
- ・ 市になり他町との関わりが少し多くなった
- ・ 自治会内で高齢者の食事会を行っている自治会がある

さわやか挨拶

- ・ 中学生の挨拶がよい
- ・ 養南中学生の挨拶がさわやかでよい

道路整備

- ・ 道路がかなり整備されている

環境

- ・ 野良犬がいなくなった

ボランティアによる見守り活動

- ・ ボランティアによる下校指導はよい
- ・ 学校の一部のところで見守り活動がされている
- ・ 生徒の登下校時の見守りパトロールのボランティアが頑張っておられる

悪いところ

交通マナーが悪い

- ・ 放置自転車が多い
- ・ 交通マナーが悪い
- ・ 小学生の自転車の飛び出しが危険である
- ・ 児童の低学年による自転車での外出は危険である
- ・ 小学校の下校時、話をしながら危険である

道路が暗い

- ・ 道路の街頭が平田町ではまだ少ないところがある
- ・ 防犯灯はあっても夜道は怖い
- ・ 夜道が暗い
- ・ 通学路に防犯灯が必要である（石津小学校下）
- ・ 街頭が少ない
- ・ 集落の街頭が少ない

対応

- ・ 市職員の窓口対応が悪い
- ・ 駐在所がいつも留守である
- ・ 市の職員数が多い
- ・ 行政の窓口がありすぎる（多すぎる）
- ・ 税金が高い

買い物ที่ไม่便

- ・ 近くに店がない
- ・ 買い物が不便

交通の便

- ・ 交通の便が悪い
- ・ 公共交通が不便
- ・ 観光資源を生かすための交通の便が悪い

環境

- ・ 市になってからは廃品回収の数が減った
- ・ プラスチックごみの収集が少なくなった

自然

- ・ 津屋川に鴨が来てもハンターに阻害される
- ・ 自然がだんだん破壊される
- ・ 水がまずい

遊び

- ・ レジャー施設がない
- ・ 外での子ども達の声が聞かれない
- ・ 揖斐川の河川敷に子どもの遊び場がない

情報

- ・ 広報の放送が聞こえない

大型車・車社会

- ・ 大型ダンプがよく通り道路が傷む
- ・ 車社会になりすぎ不便と感じる人が多い

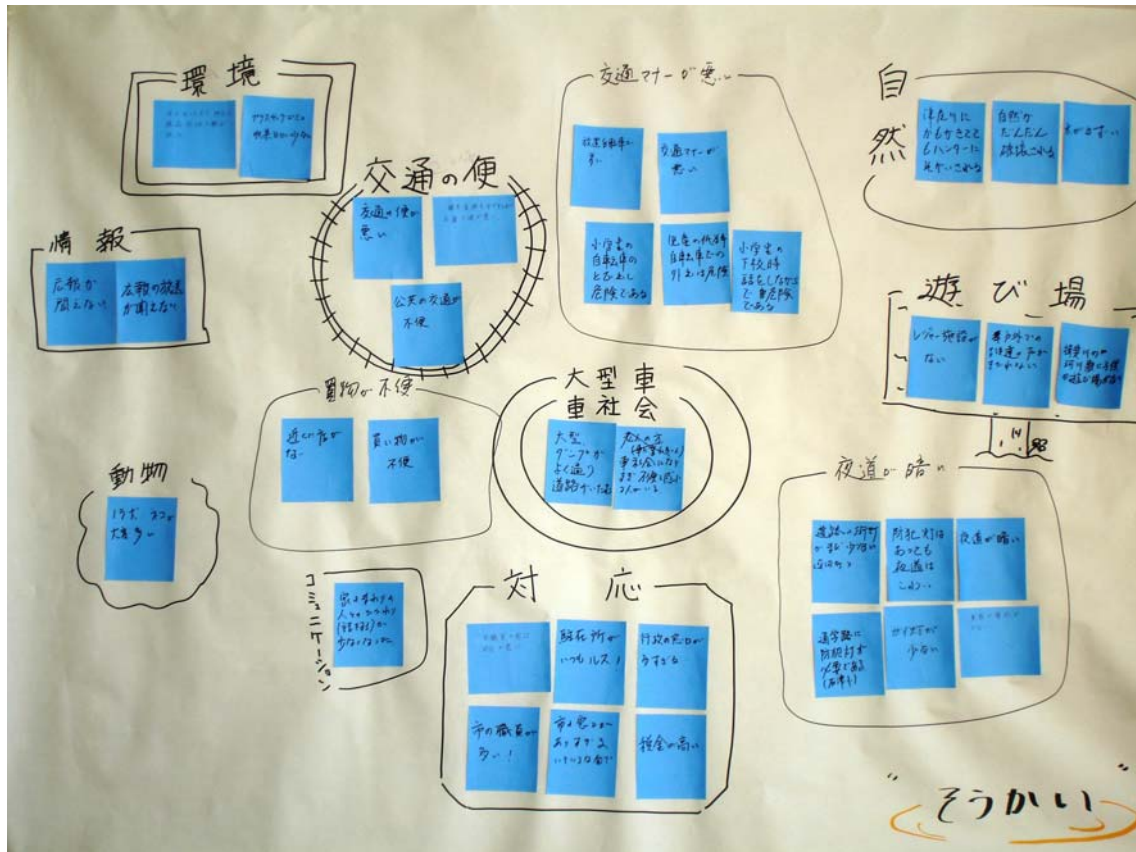
関わり

- ・ 家の周りの人々との関わりが少なくなった

動物

- ・ 犬、猫が大変多い





## ■第2回ワークショップ

テーマ：「地域の理想像－理想的な天津市の将来像を考える－」

### 施設づくり

- ・ 幼児からお年寄りまで全ての年齢の人たちが集えるセンターがあるとよいと思う
- ・ 子どもたちの遊び場、高齢者の憩いの場が一つの施設にあるとよい
- ・ 総合的病院を市の中心部に建ててほしい
- ・ 市民病院でいろんな医科があるとよい

### 地域の安全

- ・ 市内全域に見守りパトロールの輪が広がってほしい

### 手を取りあう（自治）

- ・ 市民の統一制をはかるには
- ・ 自治会内の交流の場をもつにはどんな事をしたらよいか
- ・ 地域交流の場（会議）作りをする
- ・ 幅広い年齢層の交流の場をもつには

### 高齢者の交通手段

- ・ 高齢者に対する交通手段が良くなれば
- ・ 高齢者に対しての車での買い物活動

### その他

- ・ 農作物の被害が無くなるとよい

### 文化

- ・ 伝統的文化を次世代に伝える。
- ・ 田代川ノボリ又は文化芸踊など土曜 日曜デーサート（プロ、アマ）を催し、心にゆとりある生活をしてほしい

### 感じて光る（観光）

- ・ 文化財の研究又は観光案内ができるような活動
- ・ 観光客の足をもう少し天津市に留めたい
- ・ 各ボランティアの存在とその活動を市民に広く知ってほしい

### 豊かな自然

- ・ ミニ開発を止め農地と住宅地をはっきりさせる（農業しやすく）
- ・ 自然（山）に実のなる木を植え里山を利用し自然との調和
- ・ 山の開発をやめる
- ・ 歩道のある道路作り（歩道は2m）
- ・ 橋が多くあるとよい（利便性が良くなる）

### 親と子への支援

- ・ 親に対する講習をやってほしい（子の教育について）

### ■第3回ワークショップ

テーマ：「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」

	(自 助)	(共 助)	(公 助)
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個々が地域に自信がもてる学習をする（生涯学習）</li> <li>●高齢者から歴史に詳しい人を見つける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティア団体を作り説明できる機関を作る</li> <li>●昔から引き継いだ祭事を行う事により次世代の子どもたちと共に盛り上げる活動の場作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市が学習団体を作りボランティア団体に補助を出す</li> <li>●食べる、見る、泊まるといった一日過ごせる施設作り</li> <li>●講義の場を設けてほしい</li> </ul>
地域安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無理の無い範囲で自分の余暇を提供する</li> <li>●自己の余裕の時間に通学路を見守る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域全体の住民が通学路に目を向ける</li> <li>●見守りパトロールの輪をボランティアだけでなく親、PTAにも協力してもらい広げる</li> <li>●市内のPTAや自治会長が集まる時に、見守りパトロールについて話し合い、活動を広げる</li> <li>●個人の集まりが地域の活動になる輪を広げる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域、見守り隊（ボランティア）の育成、充実</li> <li>●地域の活動がしやすいように助言、指導</li> </ul>
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個々による声かけ助け合いが必要（目配り、気配り、心配り）</li> <li>●高齢者に対する地域の見守り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●老人クラブ活動としての取り入れ</li> <li>●地域における共同協働のボランティア団体を有料でも良いので作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医師会病院への交通手段にきめ細かい時間割がほしい（昼に乗り遅れると約2時間動けない）</li> <li>●行政が予約制のタクシーをつくる</li> <li>●5～6人乗りのタクシーを作って利用をはかる</li> </ul>
文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古老より伝統的な話しを聞く</li> <li>●祭りの太鼓、笛を伝えたい</li> <li>●地域に伝わる行事に積極的に家族で参加する</li> <li>●茶道など親と子が参加できる講習を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化を広げるために地域でできる人に依頼する</li> <li>●地域の伝統的なものを話し合う場を設ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伝統文化を伝えるため助成金を出す</li> <li>●観光ガイドボランティアの養成講座を行う</li> <li>●伝統的文化を発掘（調査）する機関を設ける</li> </ul>
自然		<ul style="list-style-type: none"> <li>●豊かな自然里山（区有林）に定期的に実なる木を区の活動として植える</li> </ul>	
自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の高齢者とのサロンの結成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域全体で高齢者に子供会が目向ける</li> <li>●自治会（区）幅広い交流の場を作る（地域の清掃、スポーツ大会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各ボランティアが集う場を多く設ける</li> <li>●市全体でどのようなボランティア活動をしているのか地区ごとに知らせる</li> </ul>
施設			<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設づくりにおいては一施設でもよいから早く回答がほしい</li> </ul>

### ■第4回ワークショップ

テーマ：「前回のワークショップ・他の部会のワークショップ報告を踏まえ、地域でできること（＝共助）を各年代別で考えよう」

- 昔から引き継いだ祭事を行う事により次世代の子どもたちと共に盛り上げる活動の場作り
- ◎見守りパトロールの輪をボランティアだけでなく親、PTAにも協力してもらい広げる
- 自治会（区）幅広い交流の場を作る（地域の清掃、スポーツ大会）
- ◎各地域でのスポーツ大会の実施（地区運動会など）
- 子育て世代に積極的に声をかける（相談にのる）
- ◎3世代で取り組む地域の活動を増やす。
- 農産物の加工品を作る（夫人の力で料理の工夫）
- ◎近隣ふれあいネットワーク事業を今後も地域で継続する
- 生涯現役

### ■第1回ワークショップ

テーマ：「海津市の現状を見つめよう」  
～海津市の良いところ、悪いところ～

#### 良いところ

- 自然
  - ・自然が身近で良い
  - ・自然が豊で緑が多い
  - ・気候が比較的温和
  - ・四季が美しく自然がたくさんある
  - ・山紫水明、空気も風景も美しい
- きつな
  - ・地域としての人のつながりが比較的良好に保たれている
  - ・のんびりしている
  - ・お年寄りが元気
  - ・社会福祉協議会の取り組みが良い
- 文化
  - ・海津の能楽はスゴイ!!
  - ・歴史のある町

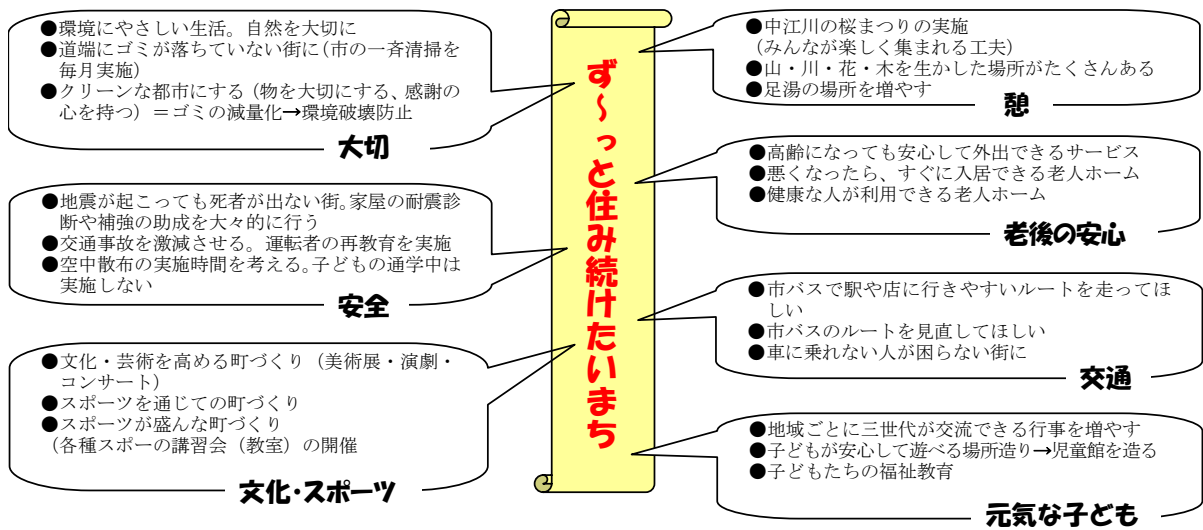
#### 悪いところ

- 仲間
  - ・市になっても人の交流が少ない
  - ・三町、早く足並みが揃うと良い
  - ・三町の人の歩み寄りが足りない
  - ・地元の人と団地人との交流の場がない
- 交通
  - ・交通の便が悪い(不便)
  - ・公共の交通機関が発達していない
  - ・車がないと不便
  - ・自転車道路が荒れている
  - ・雪の日にバスが走らない
- 環境
  - ・環境を重視しているのに町が汚ない
  - ・道路や川のゴミが多い街灯が少ない
- 病院
  - ・病院が少ない(小児科)
  - ・病院の立地が悪い
  - ・医療が充実していない
- 施設
  - ・バリアフリーが少ない
  - ・大きな総合体育館がない
  - ・施設利用料免除
- その他
  - ・商工会の元気がない
  - ・地震対策が心配

### ■第2回ワークショップ

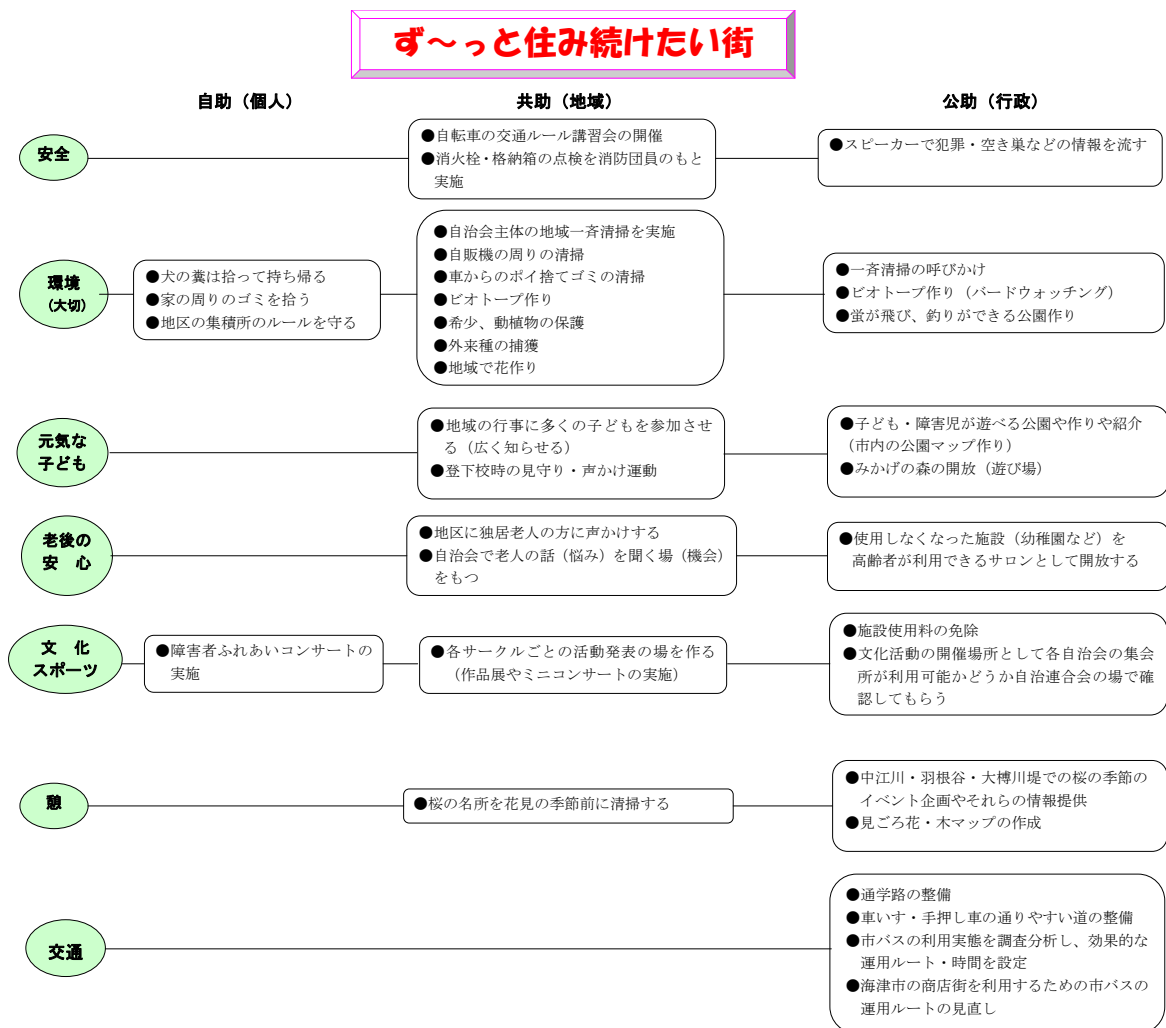
テーマ：「地域の理想像－理想的な海津市の将来像を考える－」





### ■第3回ワークショップ

テーマ:「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」





■第1回ワークショップ

テーマ：「海津市の現状を見つめよう」～海津市の良いところ、悪いところ～

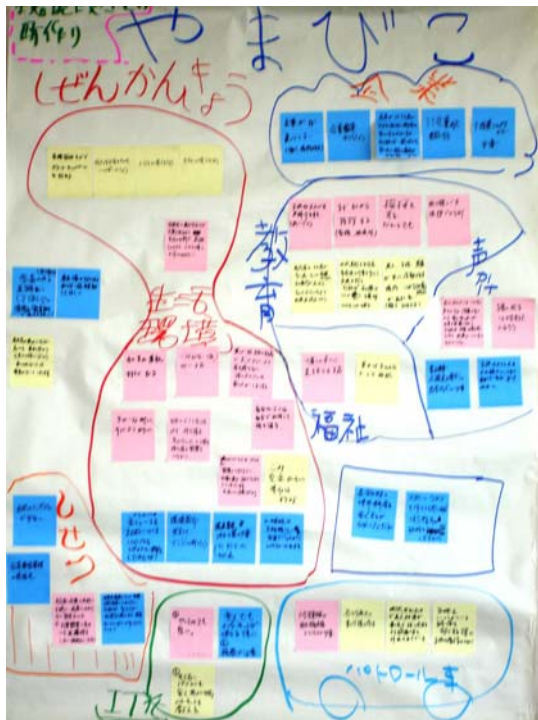
<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の登校時、地域の方々が子どもたちを見守っている</li> <li>青バトが下多度校区内に8台配備されている</li> </ul>	<b>防犯</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯用の街路灯が少ない</li> <li>学生に対しての自転車の通学路が少ない</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>やさしい人が多い</li> <li>スクールボランティアの人の活動が活発 (寒い日、暑い日に同じコートを着て頑張っている)</li> <li>ハリヨやホタルが生きている</li> <li>団地の中でもウグイスが鳴いている</li> <li>景観が最高(水晶の湯からの眺め)</li> <li>川が多く自然が多い</li> </ul>	<b>環境</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>田んぼの生き物がいない</li> <li>街路樹などの緑が少ない</li> <li>釣り人が捨てるゴミが多い</li> <li>街路樹の手入れが悪い</li> <li>食用ガエルの鳴き声がなくなった</li> <li>猿が畑のものを荒らす</li> <li>海津市内の用水路の水が流れていない</li> <li>歩道の樹木の掃除が出来ていない</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉があつて安い</li> <li>教育委員会が子どもらに講習の場がある (子どもの屋外活動支援をやっている)</li> <li>市役所職員の対応が良い</li> <li>高齢者に対する割引がある</li> </ul>	<b>行政</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎間の連携がうまくいっていない</li> <li>クレームにしないと行政は動かない</li> <li>給食サービスが三町平等でない</li> <li>福祉施設を三町平等に作ってほしい</li> <li>水道代が高い (水や花に水をかけても下水代となる)</li> <li>各町の施設のPRが少ない</li> <li>バリアフリーが少ない (行きたい場所、行ける場所がない)</li> <li>障害者にやさしくない(ハンデトイレが少ない)</li> <li>上水道の使用料で下水道代を決定するのは不合理</li> <li>朝と夜になるチャイムの時間が適切な時間でない</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関が無い</li> <li>公共交通機関をうまく活用していない</li> <li>車に乗れない人は行動範囲が狭くなる</li> <li>南部の旧道に大きい車が入れない (線路がバス等の行き来を邪魔する)</li> <li>市バスの利用者が少ない</li> <li>国道R258を暴走族が走っている</li> <li>歩道が狭い、無い</li> <li>町の中の道路が堤防のような道路ばかりで怖い</li> </ul>	<b>交通</b>

良いところ      悪いところ



## ■第2回ワークショップ

テーマ：「地域の理想像－理想的な海津市の将来像を考える－」

<ul style="list-style-type: none"> <li>・だんだん公園・ふじのステージが、きれいな所なので多くの人が利用できたら</li> <li>・ホテルが学校のみでなく水路にも飛ぶと良い</li> <li>・平田や海津でホテルの飛んでいる川が欲しい</li> <li>・田んぼに多くの生き物がいれば</li> <li>・町全体が公園のようになり、その公園の中で生活が出来たら</li> <li>・自然が沢山あり、「ここはのんびりしてるねー、癒されるねー」と訪問者に言われるような街</li> <li>・多くの木がある所が三川公園しかないので高須の近くに散策出来る森がほしい</li> <li>・美しい田んぼのため、多くの人が農作業をする事ができれば良い</li> <li>・休耕田を生かして森を作れば</li> <li>・津屋川内に止水堤が有り、自然破壊している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみのない町にする</li> <li>・道路にゴミ、空き缶などが落ちていない綺麗な町</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに手本となる大人が多くなると良い</li> <li>・親が子どもに手を出しすぎる</li> <li>・子どもと老人と一緒に学べる教室ができれば</li> <li>・高齢者、若者、幼児が幅広く集まる場所づくり</li> <li>・老人がコンピューターを使える町に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関の充実（できれば鉄道）</li> <li>・岐阜や名古屋への電車があると良い</li> <li>・道路や歩道の幅を広くする</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おまわりさんがいなくても大丈夫な町</li> <li>・戸締まりしなくても安全な町</li> <li>・子どもが外で安全に遊べる環境の町 (家に戻ってくるまで心配な状況ではいけないので)</li> <li>・各小学校に青パトができると良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きなことをして生活ができたら</li> <li>・税金を払わなくても良い町だったら</li> <li>・その人の良さ（親切心）が分かりやすく色に表れたら良い</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が集まる場所が多くなると良い</li> <li>・大規模な商業施設がほしい</li> <li>・大学があると若者が多く集まる</li> <li>・若者が働ける海津市を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティアが町を案内してくれるシステムがあつたら</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもも大人も挨拶をし合える町を</li> <li>・みんなで知らない人にも挨拶ができる町</li> <li>・朝は誰とでも挨拶できる町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーシティー海津市</li> <li>・市の人材バンクが必要では</li> <li>・地域的な差別意識を無くしたい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会病院にもっと医科があると良い</li> <li>・高齢者の治療費が無料になったら良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関係</li> </ul>



### ■第3回ワークショップ

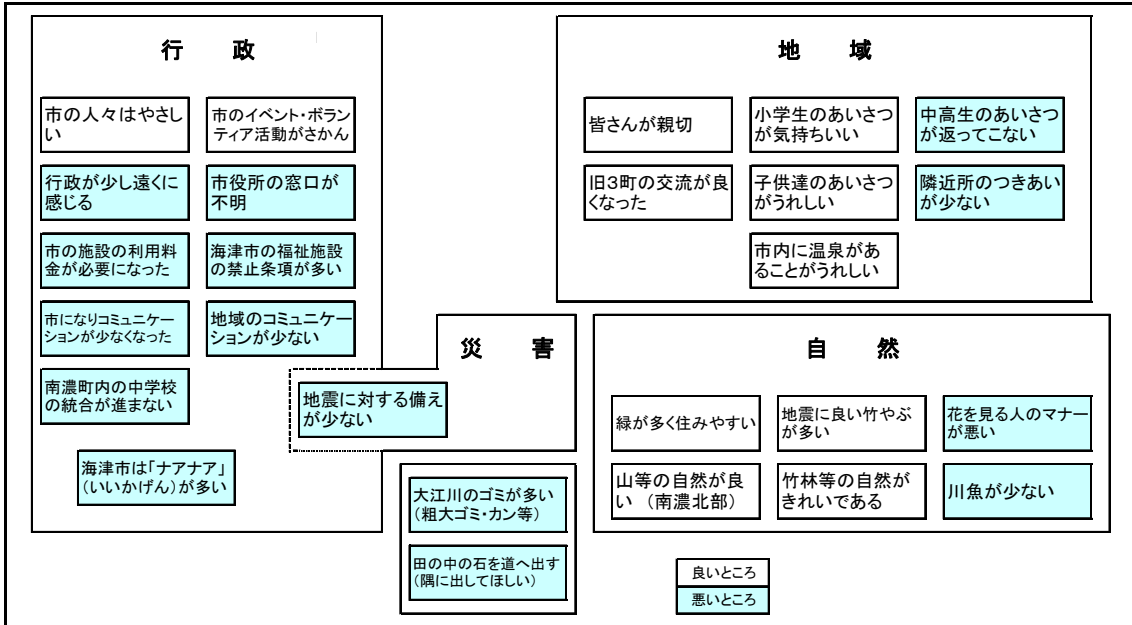
テーマ：「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」

#### 環境にやさしいまちづくり

	(自 助)	(共 助)	(公 助)
全環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緑を増やす為に、休耕田にコスモスやひまわりの花畑を作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種団体でクリーンキャンペーンを行う</li> <li>●田んぼを生き物でいっぱいにする</li> <li>●ハリヨの保護をする</li> <li>●ホタルの保護をする</li> </ul>	
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市の美化運動に積極的に参加する</li> <li>●ごみのない町づくりをする</li> <li>●美しい田や畑の為に、ゴミを捨てない</li> <li>●犬のフンは飼い主が始末するようにする</li> <li>●きれいな町作りのためにゴミ拾い</li> <li>●自分のゴミ(缶)はもちろん、周りのゴミも持ち帰る習慣をつける</li> <li>●自分のゴミは自分で持ち帰る</li> <li>●ネコにトイレの習慣をつけるようにする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●缶ジュースを200円に値上げし、100円をリサイクル料とする</li> <li>●環境都市宣言をしてゴミ0の町に</li> <li>●環境監視パトロール隊がゴミの不法投棄を見回る</li> <li>●ゴミ、空き缶拾いは行政主体で</li> <li>●小、中学生の下校時に市民と職員がパトロールする</li> </ul>
IT化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●老人がパソコンをやってみようという気持ちになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●少し古いパソコンを老人に安く譲り、インターネットを教える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●老人でもインターネットが使えるようにパソコンを整備する</li> </ul>
企業			<ul style="list-style-type: none"> <li>●働く場所を多くするため企業誘致する</li> <li>●企業を誘致する</li> <li>●若者が働く場所を確保する為、大きな会社を市に呼ぶ</li> <li>●IT企業を誘致する</li> <li>●大規模ショッピングセンターの誘致</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもや大人に声をかける</li> <li>●家族や地域の人に自分から挨拶する</li> <li>●誰とでも挨拶する</li> <li>●朝は誰とでも挨拶する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者の経験を生かすため、地域がボランティアとして役立つ場所を作る</li> <li>●地域差別を無くす為、市全体の行事を多くする</li> <li>●お互いの顔を覚えるために、老人、子ども、若者が共に活動できる機会を作る</li> </ul>	
交通		<ul style="list-style-type: none"> <li>●養老線が廃線にならない為にも公共の乗り物を利用するようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●車椅子が通れるように、両側に歩道のある道路にしてほしい</li> <li>●養老線がなくならないように運動する</li> </ul>
声かけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●気軽に話し合えるようにするため近くに住む子どもにたくさん声をかける</li> <li>●地域の子どものに注意できる人になる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害を持つ子どもの教育機関が必要</li> <li>●子どもの持つ悩みを調査する</li> </ul>
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分で医者にかからない丈夫な身体をつくる</li> <li>●生活習慣に気を付け規則正しい生活をする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内のハンディトイレを増設する</li> <li>●公共施設管理の外注化</li> <li>●医師会病院に信頼できる医者を呼ぶ</li> <li>●各施設の使用料金を安くするかタダにする</li> </ul>
パトロール車	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学児童対象の野外活動支援ボランティアが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各小学校区に青パト隊を作る</li> <li>●地域ボランティアで老人、幼児が話し合えるよう地元の方と計画をたてる</li> <li>●子どもの教育のため、子どもと一緒にいる時間を多くする</li> </ul>	
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一人暮らしの方を見守る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防犯のため、みんなで声かけする</li> </ul>	

■ 第1回ワークショップ

テーマ：「海津市の現状を見つめよう」～海津市の良いところ、悪いところ～



■ 第2回ワークショップ

テーマ：「地域の理想像－理想的な海津市の将来像を考える－」





地 域		自 然		災 害	
皆であいさつが出来る町	みんなで近所のお世話が出来る町	清掃活動で自然保護をする町	自然動物と共に住める町	災害があったら助け合える人との輪ができている町	災害時に近所との連絡が出来る町
美しい町 花いっぱいのある町	住んで良かったと思う町	南濃町には自然が多いので山登りの会を作る	道路にもつと花を(草を早く刈る)	地域で災害対応準備が出来ている町	災害時の役割分担をしている町
隣近所とのふれあいのある町	直系家族が住みやすい町	南濃町の山へ木を植える	桜並木がきれいな町 空き地の草むらがきれいな町	自治会で災害の事を話し合い、役割分担する	今まで起きた災害を踏まえ、地域の役割分担を考える
一人住まいが出来る町	3町の交流が出来る機会が出来る町	保護する部分の表示をする → 植林等	山の手入れ→昔のように松茸が出るように木を植える		
大人から声をかける	町で運動会を開催する	農家の人が中心に野菜作りを教える	花壇の多い町 → 道路沿いに花壇を		
大人の人達が声をかける	子供を見守れる町	危険なところを皆知っている町			
買物等が近くで出来る町(移動)	高齢者が気持ちよくさせる町	そ の 他		行 政	
高齢者が安心して暮らせる町	あいさつ道路(中学生と大人のあいさつ)を作ろう				
中学生のお祭り参加 → 高齢者との交流	地域での女性などの交流の場を作る	小中高生の通学路が安全な町	深夜にパトロールする町	子供達が安心して遊べる公園があるといい	行政が地域に頼れる町
		若い人が働く所が多い町	シングルと高齢者世帯との共同生活が出来るとい町	行政参加が出来るとい町(一日職員等)	行政の横割りが有る市役所に
				地域ごとに行政職員が担当者となり相談に応じる	海津市役所一本化に横のつながりを密にしてほしい
				福祉施設が使いやすい町	下水道料金が低い町
				いつでもゴミを持ち込めるステーションがあるとよい	生ゴミの出し方が統一された町
				ゴミの出し方が徹底された町	

### ■第3回ワークショップ

テーマ：「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」

(理想のまち)

## 心 や さ し い 町

凡例

自分でできること
地域でできること
行政に依頼すること

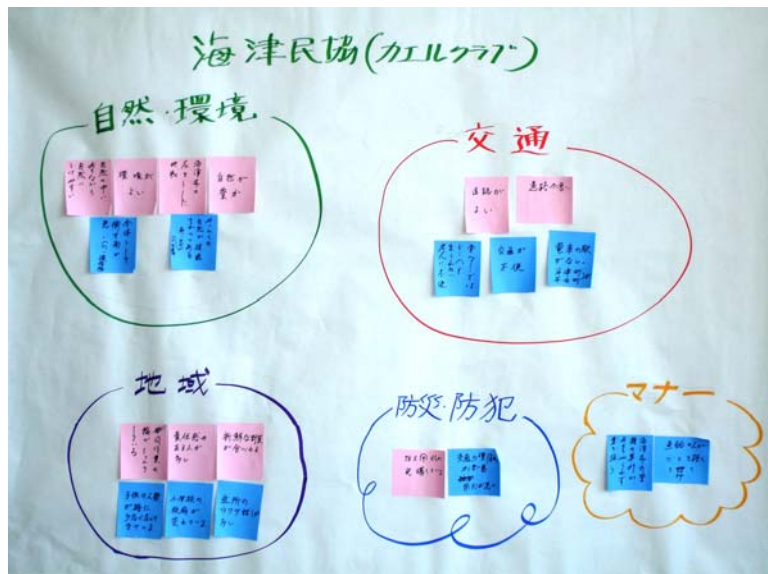
地 域		自 然		災 害	
みんなであいさつが出来る町(大人から声をかける)	大人から声を掛け、あいさつができる	花を植える	花壇の手入れ(草取り)	普段から近所と仲良く、協力し合う	災害時に備えて食料を確保する
皆であいさつが出来る町(自分の方から声をかける)	近所どうし仲良くする町	危険なところを皆知っている、言葉掛けができる町(標識作り等)	清掃活動(地域の道路の草刈り)	災害に対する対応を近所で話し合えるようにする	
登下校時に子どもを見守る(家の近くで)	子どもを見守る(通学時の見守り)	道路にもつと花を植える(仲間と協力すればできるかな)	木を植える/草を刈る/花を植える		
近所の一人暮らし世帯への声掛け	あいさつ(大人⇄子ども)	地域に共同の花壇を作る		行 政	
隣近所とのふれあいのある町	子どもを見守れる町				
危険な所を皆知る	子どもを見守れる町	そ の 他		福祉施設が使いやすいように見直してほしい	行政施設利用をもっと簡単にする
深夜にパトロール				自分で一品料理ができる	自ら交流の場を作る
				企業を誘致する	買物が近くで出来る町(車に乗らなくてもよい町)

## 海津地区民児協／カエルクラブ

### ■第1回ワークショップ

テーマ：「海津市の現状を見つめよう」～海津市の良いところ、悪いところ～

自然環境			交通	
環境がよい	自然が豊か	海津市の広々とした地域	道路がよい	道路が良い
自然の中にありながら自然にとけやすい	せつかくの自然が破壊されつつある（外来種（魚・タニシ）	全体として衛生面が悪い（川・道路脇）	交通が不便	電車の駅がない（海津町・平田町）
			車なしではどこへも出られない 老人に不便	
地域			防災防犯	
協同作業の輪がしっかりしている	責任感のある人が多い	新鮮な野菜が食べられる	防火用水が完備している	交通の便（道路）が良いため、用心が悪い
近所のウワサ話が多い	小学校の校庭が荒れている	子どもの人数が特に少なくなっている		
マナー			魚釣りの人がゴミを捨てていく	
凡例 海津市の良い所 海津市の良くない所			海津市の管轄の草刈があまりやれず、美を損なう	



### ■第2回ワークショップ

テーマ：「地域の理想像－理想的な海津市の将来像を考える－」

自然		交通	
自然が豊かで環境が整った町	自然を守るために市から各自治会に協力を呼びかける町	老人・子どもにとって交通が便利な町	市営バスの運行の考えを広くして、地域内だけでなく拡大した町
自治会		防災防犯	
三世代が一緒に参加することが多い町	自治会の運営がスムーズな町	コミュニケーションがスムーズにできる町	防災・防犯で守られている町
			防災・防犯と地域の輪と近所のウワサ話は利用価値がある
マナー			
マナーを守る町			

### ■第3回ワークショップ

テーマ：「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」



(理想のまち)

#### “思いやり”をもってみんなが参加する町

環 境			
ゴミを拾う	ゴミを捨てない	道路や川のゴミを絶対捨てない(公共意識)	水路をきれいにする
身の回りの掃除により美化に協力	公共場所の清掃(集落一体として)	できるだけ車を使わず、自転車・徒歩を心がける	なるべくゴミを出さない生活を心がける。必要な物は必要だけ買う
自分の地域からゴミをなくす(一斉美化のようなもの)	堤防の土手のゴミをなくす	ゴミのポイ捨ては絶対しない(公共意識を持つ)	草取り美化運動
主要道路脇の除草作業	花を植える	用水路の除草とタニシの駆除	ジャンボタニシの駆除
主道路の整備(草刈)	自治会・行政一致して集落の清掃	川のコンクリートや鉄板の護岸工事をやめ、できるだけ自然に戻す(水辺と浄化作用)	道路整備や造成を極力抑え、田園や木立の風景をできるだけ守る

防 犯 ・ 防 災
子どもの登下校時に何気なく見守る
不審者・要質者・DV・児童虐待と感じた時は、すぐに通報する気持を持つ
地域で防災訓練
防犯運動を行う
消火栓の設置
自治会・行政一致して防災訓練
防災訓練を町全体で行う(年1回)

産 業
職場を誘致する

交 通
交通の便をよくする
車のない人の交通の便をよくする
養老線の駒野駅・石津駅と海津町を結ぶバスの整備

地 域			
あいさつする	あいさつで登下校を見守る	道所の子どもへの言葉掛けにより、防犯・明るいまちづくり	どんな寄合・会議においても相手を尊重し、合議を深め、結論を急がない
あいさつ運動	声かけ運動(いってらっしゃい、おかえり)	弱者の手助けをする	
地域で助け合う声かけ	声かけ運動	村の寄合を大事にし、参加し、相手や相手の意見を尊重し、合議をめざす	老人のウワサ話などを利用して、防犯の呼びかけに再利用
地域の交流をもつ(家族全員参加)	おはよう こんにちは ごくろうさま		
三世代の交流会をする(バターゴルフ)	花いっぱい運動で、地区の公園や集会所の園芸の応援		

施 設
弱者にやさしい町づくり
段差のない道路・建物を造る

マ ナ ー
マナーを守る
公園のマナーの向上(ゴミと犬のフン)

凡例
自分でできること
地域でできること
行政に依頼すること

# 平田地区民児協 / こん平田

## ■第1回ワークショップ

テーマ：「津州市の現状を見つめよう」  
～津州市の良いところ、悪いところ～

### 良いところ

- 農産業
  - ・農業基盤が完備され良い営農ができる
  - ・未開発地があり、事業開発に良い
- 地域
  - ・ボランティアグループが協力的
  - ・住民の心が温かである
  - ・事件が少ない
- 道路
  - ・道路整備が行き届いている
  - ・道が良くなって車が走りやすくなった
- 施設
  - ・公共施設が立派である
- 交通安全
  - ・交通安全の見守りは大変良い
- 観光
  - ・温泉が各地域にある
  - ・お千代保さんは参拝者が多い
- 自然
  - ・水害の心配がほぼ無くなった
  - ・のどかな自然に恵まれている
  - ・道路、水路、排水機等が完備されている
  - ・広々とした土地がある
  - ・山や川があり自然の変化に富んでいる
- 子ども
  - ・子どもたちが明るく挨拶ができる

### 悪いところ

- 農産業
  - ・商店街に活気が無い
  - ・サラリーマンの勤務地が市外に多い
  - ・市内に大きな工場がなく工場誘致が必要
- 交通機関
  - ・交通の便が悪く老いた人にはきつい
  - ・交通の便が悪い
  - ・公共交通機関がない
- 医療
  - ・専門医が少ないので医療機関の充実を
- 地域
  - ・地域の関わりが薄くなってきた
  - ・町内に若い人がいなくなり、高齢化している
- 防犯
  - ・3県の境にあり犯罪が多い
  - ・最近地域で車中荒しが何件もある
- 行政
  - ・庁舎が統合されておらず不便である
  - ・市役所に見知った者がおらず用事を頼みづらい
  - ・文化センター等の場所が分かりにくい
  - ・電話や窓口での対応が悪い
  - ・三町の連携が上手くいっていない
  - ・公共施設が無料で使えない
  - ・合併により色々な補助面がカットされている
  - ・市になって何もかも不便になった
  - ・市職員がいつでもたばこを吸って休憩している
  - ・広報無線が聞こえにくい
- 道路
  - ・道路が狭いところがある
- 施設
  - ・リバーサイドプラザが有効に使われていない
- 交通安全
  - ・交通事故が多い
- 観光
  - ・観光面で連帯感がない
  - ・観光地は色々あるがPR不足





## ■第2回ワークショップ

テーマ：「地域の理想像－理想的な海津市の将来像を考える－」

### イベント

- ・行事を市1本で開催
- ・楽しいイベントを企画する

### 勤務地

- ・市内勤務が多い町
- ・地元で働ける場所を多く

### 心

- ・合併になって気持ちが小さいもつとのびのび生きたい

### スポーツ

- ・スポーツ選手育成に力を注ぐ町
- ・スポーツ振興させる町

### 行政

- ・庁舎の統一
- ・市民の意見を行政に生かす町
- ・庁舎が一つに統一されると良い

### 交流

- ・思いやり助け合い安心、安全な町
- ・独居老人の少ない町
- ・地域の子どもたちの見守りがある町
- ・3世帯4世帯の住む家族が多くなる町
- ・3世代交流地域のつながりの深い町

### 子ども

- ・子どもたちが皆で遊べる場所が多い町
- ・子どもたちを楽しめるイベントを開催する
- ・子どもを多く生める町

### 産業

- ・大きな商店が来ると良い
- ・シャッター通りの無い、活気ある町作り
- ・町財政が裕福な町

### 憩い

- ・気軽に集える場所作り

### 交通

- ・交通の便利な町
- ・道路の広い町

### 施設

- ・防災施設を完備した町
- ・市民病院を建設

### 公園

- ・山を使って自然動物園や遊歩道を

### 環境

- ・ゴミの無い町に
- ・四季の草花を育てる
- ・自然でのどかな町に

## ■第3回ワークショップ

テーマ：「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」

### 挨拶

- 自助** ・地域の皆さんや子どもたちに声をかける
- ・挨拶運動を広める
- 共助** ・隣、近所での言葉かけ
- ・子どもの見守り

### 会議

- 公助** ・民間人によるイベント、推進会議の場を設ける
- ・市の行政説明会と市民の意見交換会を地域で開く
- ・観光の総合的なPRを考える

### 子育て

- 自助** ・18歳未満が見てはいけない本は、書店やコンビニで陳列方法を厳しくする
- ・地域で子育ての見守りを
- 共助** ・登下校時の子どもたちの見守り
- 公助** ・児童館を設置する

### 安全

- 自助** ・危険な場所の見回り
- 共助** ・地域の安全確認
- ・カーブミラーの点検整備
- 公助** ・市内の見回り点検
- ・危険地域の整備
- ・自転車道及び街路灯の整備

### 高齢者

- 自助** ・高齢者を支援する
- 共助** ・一人暮らし高齢者の見守りを知人としてたい
- ・寝たきり老人を助け合う
- 公助** ・シルバー人材センターの活発化

### 清掃

- 自助** ・近所のゴミは自分たちで拾い集める
- ・道路に出ている樹木及び道路の草刈り
- ・道路上のビンや缶を拾う
- 共助** ・清掃活動をする
- ・老人会長で道路清掃

### スポーツ

- 公助** ・スポーツ教室を開く
- ・市に各種スポーツ同好会を作る
- ・スポーツを行うにあたって、施設の利用を簡単に

### 環境

- 公助** ・空き地の再利用
- ・公園等の楽しめる場所を作る

### 防災

- 共助** ・地域ごとで防災訓練を行う
- ・災害訓練で避難場所を確認

### 交流

- 自助** ・行事に積極的に参加する
- 共助** ・子ども会活動を活発に
- ・3世帯交流ができるイベントを企画
- ・子どもたちが集うイベントの企画

### 教育

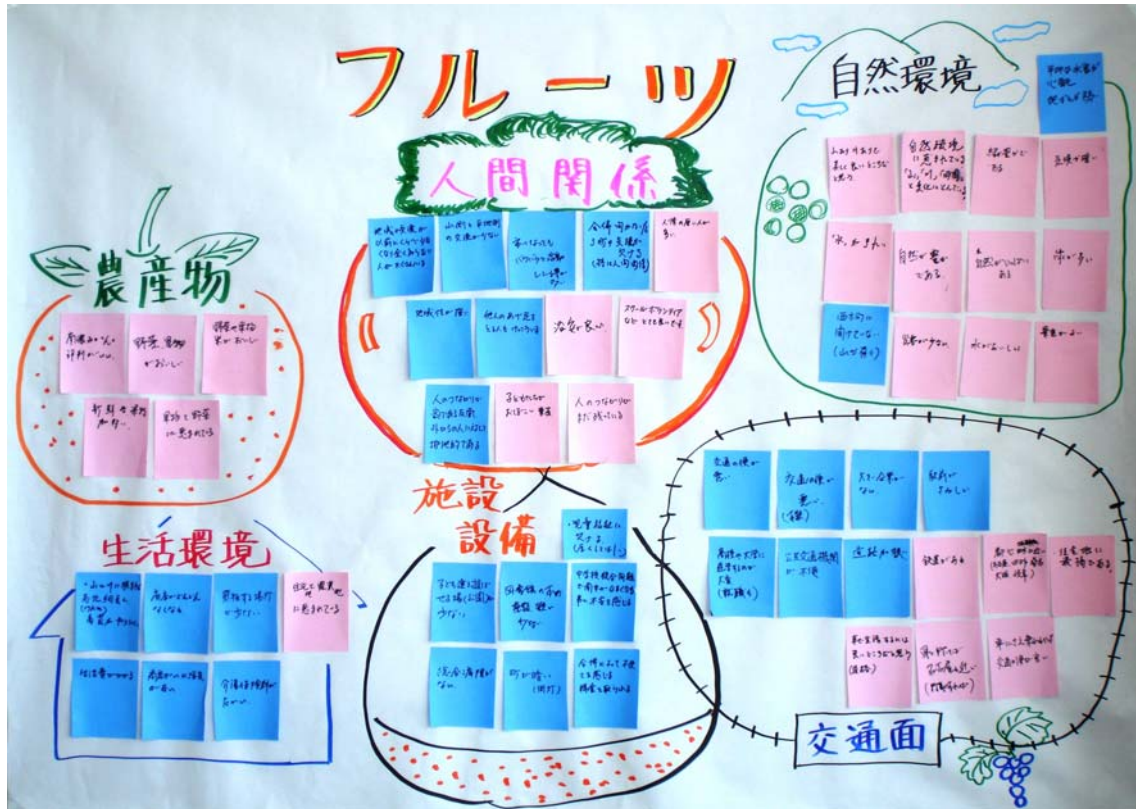
- 共助** ・若者のグループ活動が活発になるようリーダーの養成

### 企業

- 共助** ・各会社や工場が連携し子どもを預かる施設を作る
- 公助** ・企業や工場の誘致を行う

■第1回ワークショップ

テーマ：「津州市の現状を見つめよう」～津州市の良いところ、悪いところ～



- ・山・川があり美しく良いところ
- ・緑が豊である
- ・自然が豊か
- ・景色がきれい
- ・気候が暖かい
- ・水がきれい (おいしい)
- ・災害が少ない

自然環境

- ・平地は水害が心配 (地盤が弱い)
- ・山があるため西方向に開けていけない

- ・住宅地と農業地に分かれている
- ・生活費がかかる
- ・買い物する場所が少ない
- ・商店がどんどん無くなる (活気がない)
- ・山と川に挟まれて南北に細長く商売がやりにくい
- ・介護保険料が高い

生活環境

- ・鉄道がある
- ・車にさえ乗れば交通の便がよい
- ・住宅地に最適である (恵まれている)
- ・都心に近い

交通面

- ・交通の便 (交通機関) が悪い
- ・道路が狭い
- ・駅前がさみしい
- ・高校や大学に通学するのに大変

- ・南濃みかんの評判が良い
- ・野菜・果物・米がおいしい
- ・新鮮な野菜・果物が多い (恵まれている)

農作物

- ・児童福祉に欠ける
- ・子どもたちを遊ばせる場所が少ない
- ・総合病院が無い
- ・図書館の本の種類が少ない
- ・町が暗い
- ・合併によって不便を感じる (施設使用料が必要となった)
- ・中学校統合で南濃中が無くなることに不安を感じる

施設整備

- ・人情の厚い人が多い
- ・スクールボランティアが良い
- ・治安が良い
- ・人のつながりが残っている
- ・子どもたちが、おぼこい

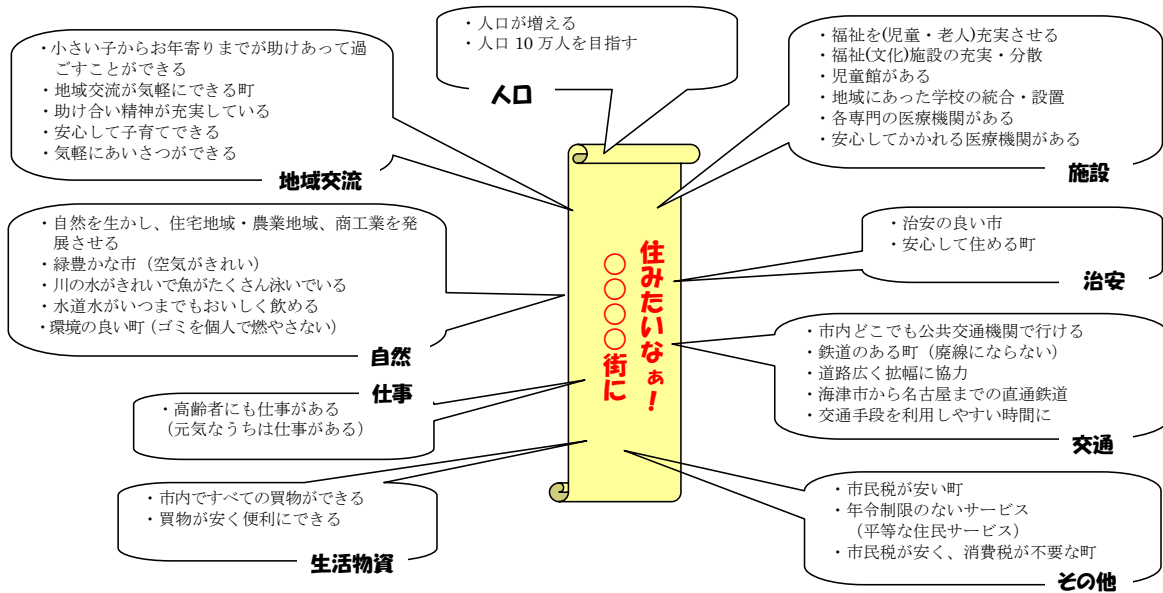
人間関係

- ・地域の交流が少なくなった
- ・市になっても活動がバラバラ
- ・地域性が強い
- ・他人のあげ足をとる人が多い
- ・人のつながりが蜜な反面、外からの人に対して排他的である

良いところ      悪いところ

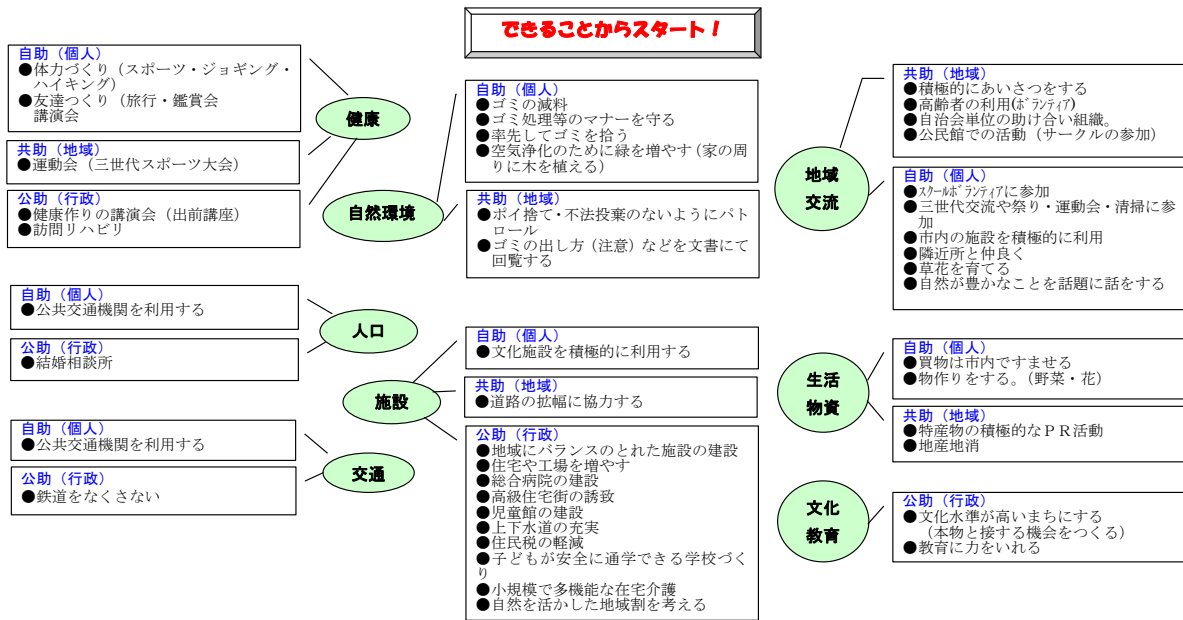
## ■第2回ワークショップ

テーマ：「地域の理想像－理想的な海津市の将来像を考える－」



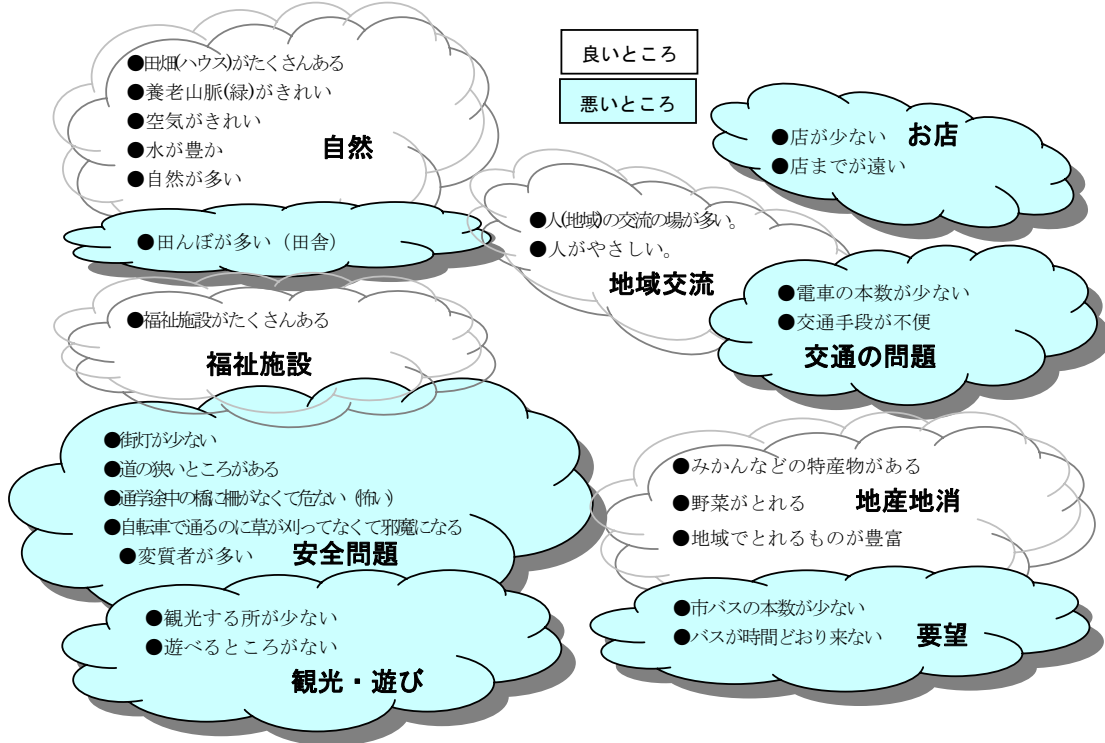
## ■第3回ワークショップ

テーマ：「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」



### ■第1回ワークショップ

テーマ：「海津市の現状を見つめよう」～海津市の良いところ、悪いところ～



### ■第2回ワークショップ

テーマ：「地域の理想像－理想的な海津市の将来像を考える－」

#### 安全で豊かな住みやすい町

##### 人とのつながり

- ・お年寄りが過ごしやすい町がよい
- ・子どもからお年寄りが楽しく暮らせる町
- ・地域の方と交流できるところがあるとよい

##### 安全

- ・草を刈ってほしい
- ・街灯が多く明るい町
- ・広い道路があると良い
- ・歩道等がある安全な道が多くなると良い
- ・橋とか危ない所がなくなるといい
- ・多くの橋がかかり便利な町
- ・事件が少ない安全な町にしてほしい

##### スポーツ

- ・サッカーをやる場所を増やしてほしい
- ・スポーツが活発な町にしてほしい

##### イベント

- ・行事(イベント)などを増やす
- ・大規模な夏祭りをしてほしい

##### 憩い

- ・気持ちを落ち着かせる場所がほしい

##### 公衆電話

- ・公衆電話が無いので作ってほしい

##### お 店

- ・店を増やしてほしい
- ・朝市が開かれる活気のある町
- ・大型店舗が近くにあるといい
- ・ファーストフード店があるといい
- ・コンビニが増えてほしい

##### 農 業

- ・果物が沢山とれる町

##### 電 車

- ・電車賃を全部100円にしてほしい
- ・路面電車が走る町
- ・電車の本数を増やしてほしい

##### バ ス

- ・バスの本数をもっとあると便利
- ・もっと交通手段を増やしてほしい
- ・交通網が発達したが便利な町

##### 娯楽施設

- ・皆が遊べる広場をもっと多く
- ・娯楽施設が充実した町
- ・観光や遊べる場所がほしい
- ・ただで魚釣りができるところがほしい

##### その他

- ・虫が少ない町が良い

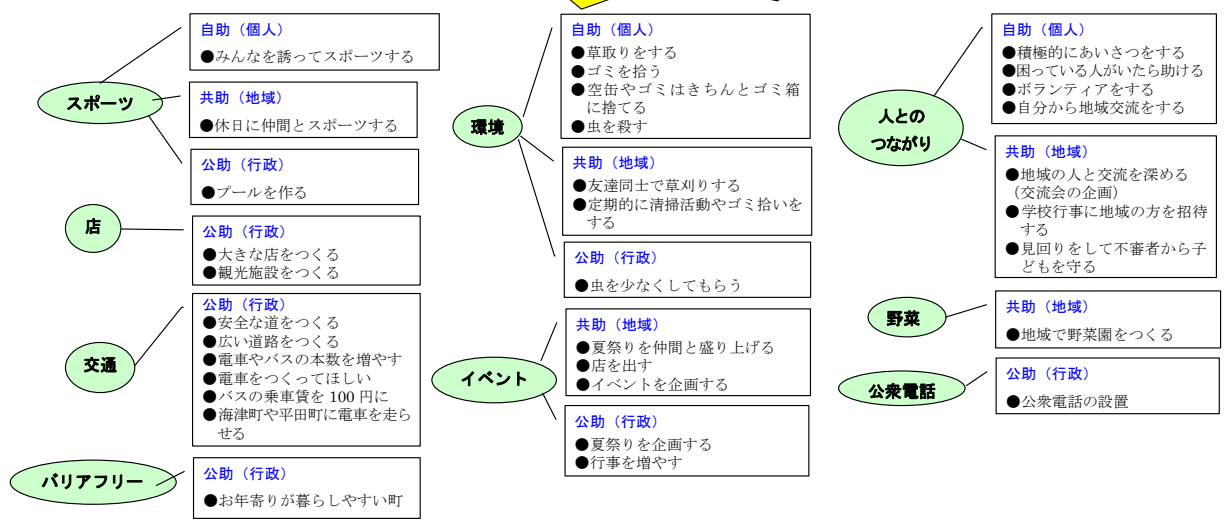


### ■第3回ワークショップ

テーマ：「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」



## Let's Passion City!



■ 第1回ワークショップ

テーマ：「海津市の現状を見つめよう」～海津市の良いところ、悪いところ～



自然		
山がキレイ	空気がおいしい	空気がおいしい
自然が美しい	自然が多い	自然が多い
自然が多い	自然が多い	自然が多い
自然が豊か	自然豊かである (田んぼ畑が多い)	自然が豊か
あたたかい(気候)	まわりが田んぼばかり	ゴミが多い(道路・川)
川が汚い	川が汚れている	虫が多すぎる

地域の交流		
あいさつをしてくれる人が多い	あいさつをしてくれる	あいさつをしてくれる人が多い
あいさつをすると笑顔でかえてくれる	地域の方が優しい	地域の交流が多い
地域のふれあいがある	定期的にゴミ拾いや 草むしりをしている	老人が多い(元氣)
高齢者の方が多く元氣である		

野菜	
野菜が新鮮	野菜が新鮮
地産地消している	

店	
学校まわりにコンビニがない	
商店街に活気がない	
大きな店が少ない	
店が少ない	
店が少ない	
店がない	

福祉・学校	
学校が素晴らしい →海津明誠	
バリアフリーが多い	

安全	
危険な場所が多い	
変質者が多い	

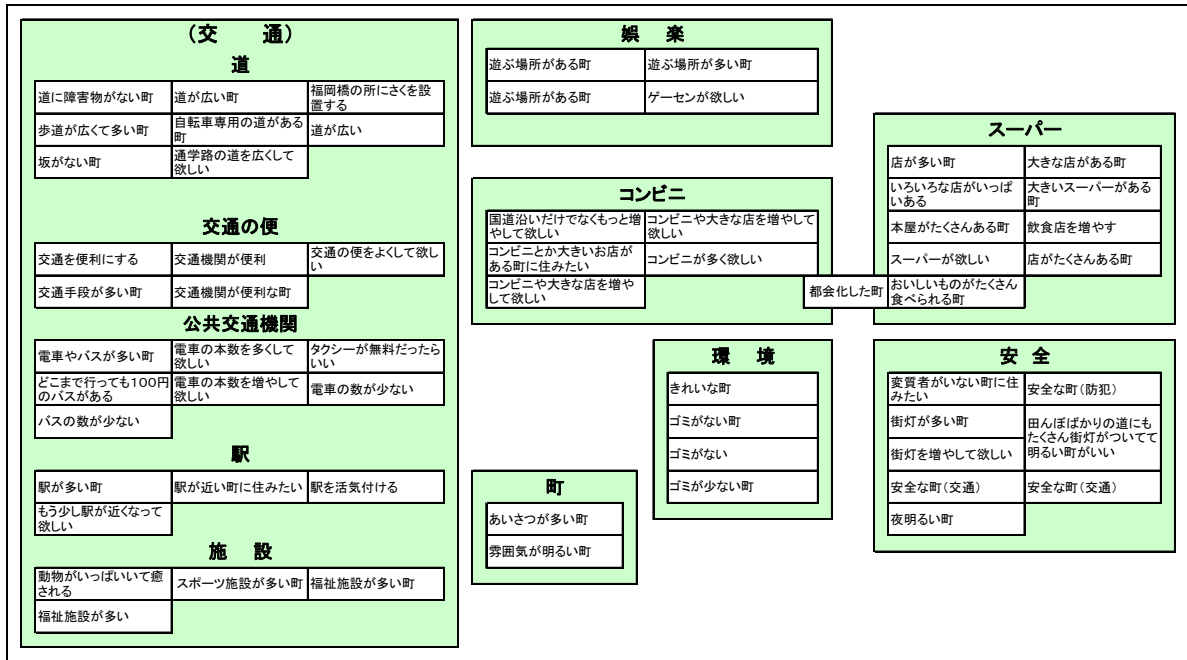
凡例	
海津市のよい所	
海津市のよくない所	

交通	
街灯が少ない	街灯が少ない
街灯が少ない	街灯がありません
夜暗い道が多く、 明るい道が少ない	信号をつけてほしいところが多い
細い道が多い	細い道が多くて迷う
通学路に障害物が多い	橋を降りてからの坂の草を刈って欲しい。邪魔...
自転車で通うと道の段差が多い	

通学	
バスの本数が少ない	電車やバスが少ない
バス(電車)の時間が あまりないから不便だ	いろいろと不便 (バスの本数)
交通の便が悪い	交通の便が悪い
交通の便が悪い	交通の便が悪い
駒野の駅とトイレが汚い	

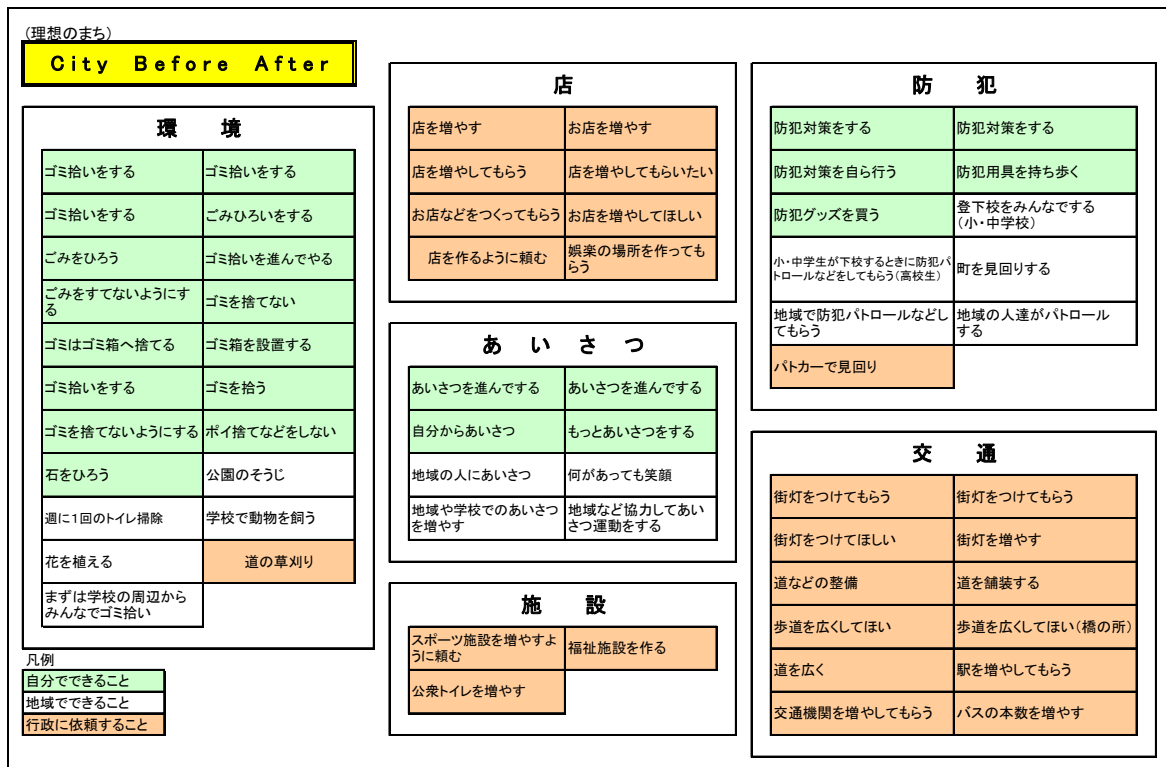
## ■第2回ワークショップ

テーマ：「地域の理想像－理想的な海津市の将来像を考える－」



## ■第3回ワークショップ

テーマ：「海津市が理想のまちになるために私たちにできることを考えよう」



## 4. 海津市地域福祉計画策定の経過

年月日	会議名等	内容
平成18年 8月7日	ワーキンググループ会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉計画の概要説明及びアンケート調査票の検討</li> </ul>
8月11日	検討委員会	
8月24日	第1回策定委員会	
9月19日～ 10月20日	アンケート調査実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内在住の18歳以上の市民2,000人</li> </ul>
平成19年 3月2日	ワーキンググループ会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査結果報告</li> </ul>
3月8日	第2回策定委員会	
7月17日	ワーキンググループ会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉計画素案の検討</li> </ul>
7月26日	第3回策定委員会	
10月11日	第4回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉計画素案の検討</li> </ul>
10月 日～ 11月 日	パブリックコメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書案を海津市パブリックコメント 手続実施要綱に基づいて実施</li> </ul>
12月 日	第5回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉計画の確定</li> </ul>
平成20年 1月 日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長答申、議会報告</li> </ul>

### ■策定委員会の様子



## 【市民参加型ワークショップ会議開催経過】

### ①市民福祉会議

年月日	実施工程
平成18年12月22日	オリエンテーション
平成19年1月22日	第1回会議(きらり)
2月19日	第1回会議(快会の会・そうかい)
3月6日	第2回会議
3月20日	第3回会議
4月16日	第4回会議

### ②ボランティア連絡協議会

年月日	実施工程
平成19年4月24日	第1回会議
5月8日	第2回会議
5月30日	第3回会議

### ③民生委員児童委員協議会

年月日	実施工程
平成19年6月20日	第1回会議・第2回会議
6月28日	第3回会議

### ④海津明誠高等学校

年月日	実施工程
平成19年6月11日	第1回会議
6月18日	第2回会議
6月22日	第3回会議



## 5. 地域福祉計画策定のための各種委員会設置条例等

### (1) 海津市福祉計画等に関わる計画策定委員会条例

平成 17 年 3 月 28 日  
条例第 90 号

(設置)

第 1 条 海津市福祉計画等の策定及び改正にあたり、必要事項等の調査、審議を行うため、次条の各計画ごとに、各計画策定委員会(以下「各委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 各委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項について調査、審議を行い、市へ提言する。

- (1) 地域福祉計画に関すること。
- (2) 介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の見直しに関すること。
- (3) 次世代育成支援行動計画に関すること。
- (4) 障害者計画に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める計画に関すること。

(組織)

第 3 条 各委員会は、別表に掲げるもののうちから、市長が委嘱する委員 20 人以内で組織する。

(任期等)

第 4 条 委員の任期は、各委員会 2 年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 各委員会ごとに委員長及び副委員長各 1 人を置き、それぞれ委員の互選によりこれを定める。

2 各委員長は、会務を総理し、各委員会を代表する。

3 各副委員長は、各委員長を補佐し、各委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 各委員会は、各委員長が招集し会議の議長となる。

2 各委員会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 各会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第 7 条 各委員会は、必要に応じて関係者の出席を求め、その意見を聴取することができる。

(庶務)

第 8 条 各委員会の庶務は、主管課において行う。

(秘密の保持)

第 9 条 各委員会の委員は、職務上知り得た事項を他にもらしてはならない。

(補則)

第 10 条 この条例に定めるもののほか、各委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この条例は、平成 17 年 3 月 28 日から施行する。

別表(第3条関係)

代 表 者	関 係 計 画
1 住民団体関係者	地域福祉計画、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画、次世代育成支援行動計画、障害者計画
2 市議会議員	地域福祉計画、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画、次世代育成支援行動計画、障害者計画
3 学識経験者	地域福祉計画、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画、次世代育成支援行動計画、障害者計画
4 保健医療関係者	地域福祉計画、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画、次世代育成支援行動計画、障害者計画
5 福祉関係者	地域福祉計画、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画、次世代育成支援行動計画、障害者計画
6 行政機関関係者	地域福祉計画、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画、次世代育成支援行動計画、障害者計画
7 学校教育関係者	地域福祉計画、次世代育成支援行動計画
8 介護経験者	介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画
9 ボランティア関係者	介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画、次世代育成支援行動計画、障害者計画
10 その他市長が必要と認める者	介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画、次世代育成支援行動計画、障害者計画

## (2) 海津市地域福祉計画検討委員会設置要綱

平成 18 年 7 月 28 日

訓令甲第 18 号

(設置)

第1条 海津市における総合的な地域福祉の推進を図るための計画(以下「地域福祉計画」という。)の策定及びその推進をするため、海津市地域福祉計画検討委員会(以下「検討委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 地域福祉計画の策定及び推進に関すること。
- (2) 地域福祉計画の策定及び推進における関係部課の総合調整に関すること。
- (3) その他検討委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 検討委員会は、別表第1に定める職にある者及び委員長が指名する者をもって組織する。

2 委員長は、市民福祉部長をもって充て、検討委員会を代表し、議事その他の会務を統括する。

3 検討委員会は委員長及び委員をもって組織する。

(会議)

第4条 検討委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員長が必要と認める場合は、会議に関係課等の者の出席を求め、意見又は説明等を聴き、又は関係課等の長に対し資料、情報等の提出を求めることができる。

(ワーキンググループ)

第5条 検討委員会に、海津市地域福祉計画検討委員会ワーキンググループ(以下「ワーキンググループ」という。)を置く。

2 ワーキンググループは、別表第2に定める検討委員会の委員の所属する課等の者で、当該所属長に推薦された係長級の者をもって充てる。

3 ワーキンググループは、計画の策定上必要な資料の収集、調査研究を行い検討委員会に報告するものとする。

4 ワーキンググループは、福祉総務課長が招集し、これを主宰する。

(事務局)

第6条 検討委員会、ワーキンググループの事務局は、市民福祉部福祉総務課に置く。

(委任)

第7条 この訓令に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、委員長がその都度定める。

附 則

この訓令は、平成18年8月1日から施行する。

附 則(平成19年3月23日訓令甲第3号)

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

別表第1(第3条関係)

市民福祉部長
市民課長
福祉総務課長
高齢福祉課長
障害福祉課長
児童福祉課長
健康課長
海津苑所長
サンリバー松風苑施設長
サンリバーはつらつ事務長
企画政策課長
消防課長

別表第2(第5条関係)

市民課
福祉総務課
高齢福祉課
障害福祉課
児童福祉課
健康課
海津苑
サンリバー松風苑
サンリバーはつらつ
企画政策課
消防課
社会福祉法人海津市社会福祉協議会
地域包括支援センター



### (3) 海津市地域福祉計画市民福祉会議設置規程

平成 18 年 12 月 22 日

(設 置)

第 1 条 海津市における総合的な地域福祉の推進を図るための計画（以下「計画」という。）の策定にあたり、市民の意見を計画に反映させるため、海津市地域福祉計画市民福祉会議（以下「市民福祉会議」という。）を置く。

(所掌事項)

第 2 条 市民福祉会議は、主として市の地域福祉における市民としての援助の在り方、方策等について意見交換及び討議し、その結果を市長に報告する。

(組 織)

第 3 条 市民福祉会議は、20 人以内で組織する。

2 委員は、広報等により公募するものとし、委嘱は行わない。

(任 期)

第 4 条 委員の任期は、第 2 条の報告が終了したときまでとする。

(部 会)

第 5 条 市民福祉会議に部門別の部会を置くことができる。

2 各部会には、部会員の互選により部会長を置き、部会長は部会を代表し会務を総理する。

3 部門別の部会及び検討内容については、委員が合議の上定める。

(運営及び事務局)

第 6 条 市民福祉会議（部会を含む）は、福祉総務課が事務局となり運営を行うものとする。

2 事務局は、委員が作成した議事要旨をまとめる。

3 事務局は、市民福祉会議に資料、情報等を提供し、必要に応じて担当職員を派遣し、又は外部アドバイザーを招聘する。

(報酬、旅費等)

第 7 条 委員には、報酬、旅費を支給しない。

(公開の原則)

第 8 条 市民福祉会議の議事要旨及び市長への報告内容は、個人情報に関するもの等を扱う場合を除き、必要に応じて市民に公開することができるものとする。

(補 足)

第 9 条 この規程に定めるもののほか、市民福祉会議の議事、運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成 18 年 12 月 22 日から施行し平成 18 年 10 月 1 日から適用する。

## 6. 地域福祉計画策定のための各種委員会委員名簿

### (1) 海津市地域福祉計画策定委員

(敬称略)

区 分	氏 名	所 属	任期 (平成年月日)
①住民団体関係者 2名	中島 健壽	海津市老人クラブ連合会長	18. 8. 1～19. 5. 14
	菱田 健	〃	19. 5. 15～20. 3. 31
	桑原 文子	海津市食生活改善協議会長	18. 8. 1～20. 3. 31
②市議会議員 1名	伊藤 善朗	海津市議会文教福祉常任委員長	18. 8. 1～18. 10. 3
	渡辺 光明	〃	18. 10. 4～20. 3. 31
③学識経験者 4名	山田 壮志郎	岐阜経済大学専任講師	18. 8. 1～20. 3. 31
	小山 豊	海津市自治連合会会長	18. 8. 1～19. 4. 30
	水谷 捨巳	〃	19. 5. 1～20. 3. 31
	伊藤 常行	海津市自治連合会副会長	18. 8. 1～20. 3. 31
	林 幹雄	海津市自治連合会副会長	18. 8. 1～19. 4. 30
	小山 豊	〃	19. 5. 1～20. 3. 31
④保健医療関係者 2名	大井 益一	海津市医師会長	18. 8. 1～20. 3. 31
	木村 泰夫	海津市歯科医師会長	18. 8. 1～20. 3. 31
⑤福祉関係者 9名	島 俊雄	海津市保育協会会長	18. 8. 1～19. 5. 16
	川口 孝臣	〃	19. 5. 17～20. 3. 31
	近藤 昇司	海津市社会福祉協議会	18. 8. 1～20. 3. 31
	瀬古 幸衛	海津市民児協会会長	18. 8. 1～20. 3. 31
	田中 由美子	NPO法人「まごの手クラブ」理事長	18. 8. 1～20. 3. 31
	加藤 邦英	介護老人福祉施設「長寿の里」・南濃施設長	18. 8. 1～20. 3. 31
	河村 淑子	海津市ボランティア連絡協議会長	18. 8. 1～20. 3. 31
	伊藤 美貴子	海津市赤十字奉仕団委員長	18. 8. 1～20. 3. 31
	永松 洸	海津市子ども会連絡協議会長	18. 8. 1～20. 3. 31
	松岡 茂樹	財団法人岐阜県身体障害者福祉協会 海津支部長	18. 8. 1～20. 3. 31
	⑥行政機関関係者	大倉 富夫	海津市民福祉部長
佐藤 博章		〃	19. 4. 1～20. 3. 31
⑦学校教育関係者 1名	伊藤 洋子	海津市教育委員代表者	18. 8. 1～20. 3. 31

## (2) 海津市地域福祉計画検討委員会委員

所 属	職 名	平成 18 年 8 月 1 日以降	平成 19 年 4 月 1 日以降
市民福祉部	部長	大倉 富夫	佐藤 博章
市民課	課長	安藤 勉	伊藤 恵二
福祉総務課	課長	大倉 明男	後藤 昌司
高齢福祉課	課長	鈴木 里美	鈴木 里美
障害福祉課	課長	後藤 昌司	木村 元康
児童福祉課	課長	平野 敏	平野 敏
健康課	課長	高木 伊吉	安達 博司
海津苑	所長	伊藤 直次	水谷 辰巳
サンリバー松風苑	施設長	伊藤紋三郎	伊藤紋三郎
サンリバーはつらつ	事務長	安達 和光	安達 和光
まちづくり推進課	課長	三木 孝典	—
企画政策課	課長	—	三木 孝典
消防課	課長	谷口 豊明	大井 吉幸

### (ワーキンググループ)

所 属		平成 18 年 8 月 1 日以降		平成 19 年 4 月 1 日以降
市民課	主幹	伊藤 一	主幹	伊藤 一
福祉総務課	係長	金森 健吉	係長	安立 文浩
高齢福祉課	課長補佐	伊藤 精治	係長	金森 健吉
障害福祉課	課長補佐	福島 謙治	係長	山本 明美
児童福祉課	主幹	岡田 建治	課長補佐	松岡 一則
健康課	係長	田中喜代美	係長	田中喜代美
海津苑	係長	丹羽 雅也	係長	丹羽 雅也
サンリバー松風苑	係長	河合 弘子	課長補佐	高木 春世
サンリバーはつらつ	課長補佐	高木 勝浩	課長補佐	高木 勝浩
まちづくり推進課	課長補佐	服部 尚美	係長	寺村 典久
消防課	課長補佐	丹羽 邦彰	課長補佐	丹羽 邦彰
社会福祉協議会	係長	森 浩晃	係長	森 浩晃
地域包括支援センター	係長	高木 千春	係長	高木 千春

### (3) 市民福祉会議公募委員

(敬称略)

第1部会	氏名	第2部会	氏名	第3部会	氏名
きらり会	高木 健一	快会の会	諏訪伊三次	そうかい	浅井 玉恵
	駒井 聖		河合久美子		飯田かゆ美
	福井 路子		伊藤千代子		渡邊 喜紘
	永井智恵美		谷 清子		加々本佐知子
	近藤 直子		佐藤 羊子		早川登代子
			伊藤啓二郎		岩田 城士
			馬場みちよ		大井 昌代

### (4) ボランティア連絡協議会のワークショップ会議参加者

(敬称略)

第1部会/ヤッホー		第2部会/やまびこ		第3部会/やすらぎ	
団体名	参加委員名	団体名	参加委員名	団体名	参加委員名
AN	豊田 幸子	海津市赤十字奉仕団	古川 光子	AN	田尻サヨ子
食生活改善協議会南濃支部	伊藤たまえ	ゆう・優	児玉孝子	ゆう・優	毛利泰子
	先山忠子	食生活改善協議会南濃支部	小山 美保	食生活改善協議会平田支部	橋本美江子
食生活改善協議会平田支部	小栗 幸子	みどり	市田 昭子	みどり	高木五十鈴
わかば	小山 治代	わかば	岡田美枝子	つくし会	野口 政子
つくし会	安江 聖子	つくし会	山根 由子	海津カットボランティア	山森 ゆみ
海津カットボランティア	高御堂喜代子	海津カットボランティア	栗林ツギ子	ひなたぼっこ	近藤 昌子
ひなたぼっこ	森 照美	ひなたぼっこ	伊藤由比子	心をつなぐ会	藤木 正人
心をつなぐ会	藤田 重紀	心をつなぐ会	石井 徹郎	仲良しグループ	伊藤 みゑ
仲良しグループ	三田 道代	仲良しグループ	松岡シズ子	志津新田ふれあいサロン	堀田 文子
志津新田ふれあいサロン	高木 久見	海津地区福祉推進委員	下田 博暉	海津地区福祉推進委員	菱田 明子
海津地区福祉推進委員	安田眞智子	セーフティサポート コミュニティ平田	長谷川龍雄	セーフティサポート コミュニティ平田	赤尾 俊春
セーフティサポート コミュニティ平田	中島 健	志津ふれあいサロン	森 節子	志津ふれあいサロン	高木 正子
志津ふれあいサロン	大倉とみ子	南濃北部地区 防犯パトロール隊	藤田 良博	志津ふれあいサロン	川添 敏弘
南濃北部地区 防犯パトロール隊	堀田 実生		佐橋 和子	アジア障害者の会	伊藤 国男
やまびこ	松本 久子	やまびこ	中西 幸子		伊藤 恵子

(5) 民生委員児童委員協議会のワークショップ会議参加者

(敬称略)

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
海津／カエルクラブ	加藤 龍平	平田／こん平田	森 武之	南濃／フルーツ	宇佐美 傳
	古川 逸子		酒井 清		眞野喜美子
	伊藤 修		水谷佐和子		森 義彦
	丹羽 敏幸		伊藤 正雄		山田 正子
	森山 定		小野 富子		古川 順子
	伊藤由美子		河合久美子		木村加代子
			藤田佐喜子		

(6) 岐阜県立海津明誠高等学校のワークショップ会議参加者

(敬称略)

第1グループ／濃尾平野			第2グループ／Colorful		
学年	科名	氏名	学年	科名	氏名
1年	普通科	後藤 大典	1年	普通科	高木 翔大
1年	普通科	松本 泰之	1年	普通科	森 千裕
1年	生活福祉科	西脇 麻耶	1年	普通科	戸島 美月
1年	生活福祉科	丸藻 美奈	1年	生活福祉科	菱田 麻里
1年	普通科	林 源太	1年	生活福祉科	板谷 幸恵
2年	生活福祉科	野崎 沙季	2年	生活福祉科	新井 常代
2年	生活福祉科	藤田亜由美	2年	生活福祉科	桐山 忍
2年	生活福祉科	古川 愛子	2年	生活福祉科	加藤梨恵子
3年	生活福祉科	三輪亜緒衣	3年	生活福祉科	棚橋 美輝
3年	生活福祉科	水谷亜里沙	3年	生活福祉科	服部 恵子
3年	情報処理科	伊藤実佳子	3年	生活福祉科	奥田 有香